

2026年度

学 校 推 薦 型 選 拔 Ⅱ
学 生 募 集 要 項

(大学入学共通テストを課する学校推薦型選抜)

法 学 部
経 済 学 部
医学部医学科
創 造 工 学 部
農 学 部

2025年8月

香 川 大 学

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う 本学入学者選抜の対応について

○活動報告、調査書等について

新型コロナウイルス感染症の影響による各種大会、資格・検定試験等の中止等により成果を活動報告や調査書等に記載できない場合は、その内容（大会や資格等について）及び成果獲得に向けた努力のプロセスやそれらに代わる目標に向けた努力等を記載してください。

なお、高等学校等における部活動等の諸活動の実績や資格検定試験等の成果を評価する際には、中止・延期等となった大会や資格・検定試験等に参加できず、結果を記載できないことをもって入学志願者が不利益を被ることがないよう配慮します。また、高等学校等の臨時休業の実施の結果、出席日数や特別活動の記録や指導上参考となる諸事項の記載が少ないことをもって、入学志願者が不利益を被ることがないよう配慮します。

目次

医学部医学科における入学定員及び募集人員について

I 入学者の受入方針	1
II 募 集 人 員	12
III 出 願 に つ い て	
1. 推 薦 要 件	13
2. 出 願 手 続	16
3. 選 抜 方 法	25
4. 個別学力検査等の日時及び場所	30
5. 合 格 者 発 表	30
6. 入 学 手 続	31
7. その他の注意事項	32
8. 入試情報の開示について	32
9. 障害等のある入学志願者との事前相談について	34
10. 個人情報の取扱いについて	35
11. 学校推薦型選抜Ⅱに関する照会	35
IV 試験場案内図	
1. 香川大学試験場案内図	36
2. 香川大学建物配置図	37

医学部医学科における入学定員及び募集人員について

医学部医学科の入学定員について、「経済財政運営と改革の基本方針2018」（平成30年6月15日閣議決定）等に基づく暫定的な医学部入学定員の増加措置が2022年度で終了したため、現時点では95人となっております。

しかし、文部科学省及び厚生労働省から、2026年度入学者についても、暫定的に臨時定員を維持する方針が示されています。

2024年度に実施した2025年度入試では、調整の結果、医学科の一般選抜（前期日程）の募集人員が76人（「地域枠（一般）」9人を含む。）、学校推薦型選抜Ⅱの募集人員が30人（「地域枠（学校推薦）」5人を含む。）となりました。2026年度入試の募集人員については今後調整の予定であり、変更があり得ます。確定次第、本学ホームページ（<https://www.kagawa-u.ac.jp/>）ですみやかに公表します。

I 入学者の受入方針

香川大学は、「世界水準の教育研究活動により、創造的で人間性豊かな専門職業人・研究者を養成し、地域社会をリードするとともに共生社会の実現に貢献する。」という大学の理念にふさわしい学生を求めています。

各学部、学科の具体的な入学者の受入方針は次のとおりです。

法学部

1. 教育理念

香川大学法学部は、四国で唯一の国立大学法学部であり、高等裁判所をはじめとする重要な官公庁の位置する地の利を活かし、全国的にも高い評価を受ける教育研究を行うことを目指しています。

香川大学法学部は、開かれた自由で民主主義的な社会を支える公共的市民を育てます。さらに、法学的素養を備えた専門職業人を養成します。

2. 教育目標

香川大学法学部では、その教育理念に基づき、開かれた自由で民主主義的な社会を支える公共的市民、法学的素養を備えた専門職業人を育成します。すなわち、世界の多様性とそこから生ずる諸問題を把握し、その解決に向けての法律学・政治学の基本的理念の知識を適切に用いて自他の尊厳を守ることができる人間を育成します。

3. 教育内容

このような教育目的を達成するために、基礎から比較的高度な内容への段階的履修、ゼミナールを中心としたきめの細やかな少人数及び双方向の教育、希望する将来の職業に応じて重点の異なる法律職コース、公共政策コース及び企業法務コースの3コース制による教育を実施しています。

4. 求める学生像（入学者に求める学力・能力・資質等）

大学入学までに、以下のような学力・能力・資質等を備えている学生を求めています。

①知識・技能

＊高等学校等における幅広い学習に裏付けされた知識及び技能の総合力と学ぶ力

②思考力・判断力・表現力

＊物事をさまざまな角度からとらえ、筋道を立てて考える能力

＊紛争解決及び政策立案のために必要な論理的な思考力と判断力

＊文章や議論の中で自分の意見を積極的にかつ説得力を持って表現できる能力

＊相手の意見からも学び、議論をリードし発展させることのできる能力

③主体性・多様性・協働性

＊主体的に多様な他者とのかかわり、他者の意見や価値観を尊重し相互理解に努めようとする協働性やコミュニケーション能力

④関心・意欲・態度

＊正義と衡平を追求しそれらを社会に実現しようとする意欲と態度

＊現代社会の動きに常に関心を持ち、書物や新聞を通して、広く社会で生じていることに対する問題意識を深め、自分の意見を形成できる能力

⑤倫理観・社会的責任

＊社会の構成員としての自覚と責任を持ち、自己が果たす役割や倫理観・社会的責任を理解し、自律的に

行動できる能力

◇大学入学までに修得が期待される内容

本学部に入學を希望する人は、入學後の教育に対応できる素質を養うため、高等学校において文系・理系にとらわれない幅広い学習をしてください。高等学校で学ぶことは、大学教育の前提となるものです。まずは英語及び国語の基礎的な能力を身につけて、国際的な視野と多様性への理解、思考力・表現力を養ってください。また法学・政治学は社会科学ですから、地理・歴史や公民など社会科の科目で学んだ知識も入學後の学修内容と深く結びつきますので理解を深めてください。さらに数学や理科の学びによって培われる論理的思考力は、法学・政治学の理解や様々な課題解決を考える上で重要です。このような高等学校における幅広い学びを通じて、法学・政治学の教育の前提となる知識や思考力・表現力を修得するとともに、社会の出来事に対する問題関心・意欲を身につけ、多様性を尊重し他者と協働することの重要性と、社会の構成員としての倫理観・社会的責任を理解してください。

5. 入学者選抜の基本方針

大学入学までに修得が期待される内容で示した基礎的な学力・能力・資質等を測るため大学入学共通テストの国語を通じて思考力・判断力・表現力を評価し、数学を通じて論理的思考力、外国語を通じて表現力や多様性への理解度を評価します。また、調査書の審査では、地歴・公民の成績を重視して社会科における基礎的な知識の理解度を評価し、特記事項により主体性・多様性・協働性や関心・意欲・態度、倫理観・社会的責任を評価します。具体的には、文化活動、スポーツ活動、生徒会活動、クラブ活動、海外留学体験、ボランティア活動、英語検定、簿記検定、漢字検定などにおいて特に顕著な実績を挙げているものを評価します。志願者が作成した志望理由書の内容についても、調査書の特記事項と同様の観点から評価します。

経済学部

1. 教育理念

香川大学経済学部は、経済や経営に関する世界水準の研究教育活動により、創造的で人間性豊かな専門職業人を養成し、地域社会をリードするとともに共生社会の実現に貢献することを理念とします。学士課程では、豊かな人間性と高い倫理性の上に、幅広い基礎力と経済や経営に関する専門知識や多様な価値や文化に対する深い理解に支えられた課題探求能力を備え、国際的な視野で地域社会において活躍できる進取の気象と共生の精神に富んだ教養豊かな経済人を育成することを目指します。

2. 教育目標

経済や経営に関する専門知識を活かし、多様な価値や文化に対する深い理解を背景として、国内外で活躍できる力を身につけます。

【専門分野に対する優れた能力】

経済の仕組み、企業の活動、世界の社会・歴史などに関するさまざまな現象から、自ら課題を発見し、それを探求・解決するための専門的知識を学びます。さらに知識を活かすには実務的な処理能力を兼ね備えている必要があります。理論と応用が有機的に結合した実行力を身につけます。

【経済人としての幅広い視野】

現代社会が求める経済人は、柔軟な視野にたち、コミュニケーション能力を備え、社会と積極的にかかわることのできる人材です。世界の諸文化について幅広い知識を持ち、多様な価値観を理解できるようにします。

【情報を分析し発信する能力】

今日の社会は複雑化した経済情報、国境を越えた世界中のあらゆる情報に満ちあふれています。必要な

情報を迅速かつ的確に収集し、分析する能力を身につけるだけでなく、自ら情報を発信する力を身につけます。

3. 教育内容

経済学部学生が学ぶ授業科目は、「全学共通科目」と「学部開設科目」に大別されます。「全学共通科目」は、主に1年次の全学学生を対象に開設される教養教育科目です。学部での専門教育を受けるために必要な基礎的学力や学習の方法、他の分野の幅広い知識や考え方を身につけます。

「学部開設科目」は、学部学生を対象に開設する授業科目です。学部開設科目は、課題探求能力や実務処理能力を身につけるための科目であり、各専門分野を体系的に学べるように授業科目を用意しています。学部教育の根幹科目として、3年次履修の「演習」及び4年次履修の「卒業論文」を必修科目としています。

また入学後に、各学生は自分の興味・関心・適性、将来の進路等を考慮して、以下の5コースのうちからどれか一つを選択し、より専門性を深めるための科目を中心に学んでいきます。

【経済・政策分析コース】

(学修する内容と身に付ける力)

経済学の理論的・実証的手法を体系的に修得し、複雑な経済現象の本質を論理的思考に基づき理解する能力を養います。その上で、人びとの幸福の達成に向けて、経済のメカニズムを分析し、日本経済及び世界経済の課題やそれに対する政策の検討を行います。さらには、提言を行うための課題探求・解決力、コミュニケーション力を身につけます。

(想定している卒業後の進路等)

公務員、自治体・企業の調査分析部門

【会計・ファイナンスコース】

(学修する内容と身に付ける力)

財務会計、管理会計、会計監査等の会計学分野について、主に企業行動を対象に段階的かつ網羅的に学ぶことで会計情報を読み解く基礎から応用に及ぶ能力を身につけます。また、金融論、経営財務、保険論及び財政学の分野について、政府の政策や企業行動を対象として学修することで、ファイナンス領域に関する深い理解力と洞察力を身につけます。

(想定している卒業後の進路等)

金融機関、企業における経理部門・財務部門、会計ファイナンスの能力を生かせる官公庁（国税庁など）

【経営・イノベーションコース】

(学修する内容と身に付ける力)

戦略と組織、マーケティング、イノベーション、企業の社会的責任など、経営学に関わる幅広い内容を学修します。また、ビジネスの視点から問題解決にあたり、新たな価値を創造する上で必要となるコミュニケーション能力、課題探求・解決能力を身につけます。

(想定している卒業後の進路等)

民間企業（製造、卸・小売業）、官公庁・金融機関等における創業支援・経営支援の業務、起業

【観光・地域振興コース】

(学修する内容と身に付ける力)

経済学・経営学をベースに、観光学、地域活性化論等により地域振興・経済活性化に向けた観光資源等の活用方策を考える基礎的能力を身につけます。さらに、観光に必要な調査法やフィールドワークにより、地域振興に必要な実践的能力を身につけます。

(想定している卒業後の進路等)

公務員（観光振興、地域振興）、公益法人等（JA、生協、商工会議所）、観光業、地場産業等の企業

【グローバル社会経済コース】

(学修する内容と身に付ける力)

経済活動の国際的展開と多様な社会現象に対応するため、経済学をベースに世界各地の経済や社会・文化を幅広く学修します。その上で、世界を舞台に活躍するのに必要な問題解決能力とコミュニケーション能力を身につけます。

(想定している卒業後の進路等)

国内外の企業（国際部門など）、公益法人（JICA など）、NGO、新聞社などのメディア

4. 求める学生像（入学者に求める学力・能力・資質等）

大学入学までに、以下のような学力・能力・資質等を備えている学生を求めています。

①知識・技能

＊経済の仕組み、企業の活動、世界の社会・歴史などに関する専門性の高い学問を学び、研究活動を実践するための、高等学校等における幅広い学習に基づいた知識・技能・理解能力

②思考力・判断力・表現力

＊経済・社会におけるさまざまな現象において、解決を必要としている問題を発見・探求し、自分の考えを論理的にまとめて、他者にわかりやすく伝える思考力・判断力・表現力

＊情報伝達の高度化・迅速化が進む社会において、必要な情報を収集・分析し、自ら情報を発信することができる能力

③主体性・多様性・協働性

＊柔軟な視野にたつて社会と積極的にかかわり、コミュニケーション能力を備え、多様な価値観を理解できる主体性・多様性・協働性

④関心・意欲・態度

＊経済・社会に関するさまざまな現象に興味を持ち、従来の考え方にとらわれず積極的に新しい物事に取り組んでいこうとする関心・意欲・態度

⑤倫理観・社会的責任

＊グローバル化する社会において、地域に根ざしながら世界と連携し共生するために、自己が果たすべき社会的責任や備えるべき倫理観を理解し体現する能力

◇大学入学までに修得が期待される内容

高等学校等において学ぶ、英語、数学、国語を中心とした基礎学力を身につけていることが必要です。英語の基礎学力は、大学において、国際的なコミュニケーション能力を本格的に養うために必要です。数学の基礎学力は、数学的な推理能力や論理的な能力を必要とする専門科目の講義を受けるために必要です。国語の基礎学力は、講義やゼミナールで文献を読んだり、レポートを書いたり、自分の意見を発表するために必要です。また経済・社会に対する関心を高め、論理的思考力を養うために普段から新聞を読んだり、読書習慣を身につけたりすることも重要です。さらに主体性・多様性・協働性を養うために、文化活動、スポーツ活動、生徒会活動、クラブ活動、海外留学体験、ボランティア活動などに励むことも推奨します。加えて、国際的なコミュニケーション能力を養ったり、数学的な能力を培ったり、実務的な処理能力や教養を高めたりするために、英語検定、数学検定、簿記検定、漢字検定などの検定や資格の取得に励むことも推奨します。

5. 入学者選抜の基本方針

＊学校推薦型選抜ⅡA（大学入学共通テストを課する学校推薦型選抜）

高等学校で一定水準以上の知識・技能・理解能力を身につけ、かつ人物的に優れた人を対象に、大学入学共通テストの国語、数学、外国語の3教科4科目と調査書の特記事項で評価します。大学入学共通テストでは、基礎的な知識・技能・理解能力を評価します。調査書の特記事項では、主体性・多様性・協働性や国際的なコミュニケーション能力・数学的な能力・実務的な処理能力・教養などを評価します。

具体的には、文化活動、スポーツ活動、生徒会活動、クラブ活動、海外留学体験、ボランティア活動、英語検定、数学検定、簿記検定、漢字検定などにおいて特に顕著な実績を挙げているものを評価します。

***学校推薦型選抜ⅡB（大学入学共通テストを課する学校推薦型選抜）**

高等学校の専門教育を主とする学科で、一定水準以上の知識・技能・理解能力を身につけ、かつ人物的に優れた人を対象に、大学入学共通テストの国語、数学、外国語の3教科4科目（あるいは国語、数学、外国語、情報の4教科4科目）と調査書の特記事項で評価します。大学入学共通テストでは、基礎的な知識・技能・理解能力を評価します。調査書の特記事項では、主体性・多様性・協働性や国際的なコミュニケーション能力・数学的な能力・実務的な処理能力・教養などを評価します。具体的には、文化活動、スポーツ活動、生徒会活動、クラブ活動、海外留学体験、ボランティア活動、英語検定、数学検定、簿記検定、漢字検定などにおいて特に顕著な実績を挙げているものを評価します。

医学部医学科

1. 教育理念

香川大学医学部医学科は、①幅広い教養と高い倫理観を備えた人間性豊かな医師・医学研究者、②自ら課題を探究し、それを解決できる高度な専門知識と技術、科学的思考力、判断力を備える医師・医学研究者、③地域に根差した医療人として地域医療に貢献し、地域における医学・医療の中核としての指導的役割を担うことができる医師・医学研究者、④国際交流や国際貢献のための幅広いコミュニケーション能力と国際的視野を持った医師・医学研究者を育成することを目指します。

2. 教育目標

教育理念に掲げる医師・医学研究者の育成のために、次の能力及び態度を養成します。

- ① 医師・医学研究者として適切なコミュニケーションの実践及び世界標準の医学・医療に関する情報収集に必要な言語運用能力
- ② 21世紀型市民として身に付けるべき幅広い教養と医学・医療に関する基礎的知識と技能
- ③ 自ら問題点を見出し、解決する能力及び生涯を通じて自己主導型学習を实践する態度と習慣
- ④ 社会の一員として法令・社会的規範を遵守して行動できる社会性、医師・医学研究者としての倫理観・使命感・責任感
- ⑤ 医療・保健・福祉に関する地域理解及び地域医療への関心

3. 教育内容

教育目標を達成するために、全学共通科目と学部開設科目から構成される教育課程を編成・実施します。

全学共通科目において21世紀型市民としての幅広い教養と社会性・倫理観、地域理解及び国際的言語運用能力を育成します。学部開設科目において、医学・医療の基盤となる自然科学領域と医学領域の知識と技能を養成するとともに、医師・医学研究者としての倫理観・使命感・責任感及び地域医療への関心を涵養します。

階層的カリキュラムを実質化するため、年次ごとの進級要件を定め、年度末に厳格な進級判定を行います。4年次末においては、全国共通の共用試験の合格も進級要件に含まれます。臨床医学の修得に関する評価は6年次に卒業試験として行い、卒業判定に用います。

4. 求める学生像（入学者に求める学力・能力・資質等）

大学入学までに、以下のような学力・能力・資質等を備えている学生を求めています。

①知識・技能

*医学の専門知識と技能を修得するための基盤となる、高等学校等における幅広い学習に裏付けされた知

識・技能

②思考力・判断力・表現力

＊情報の収集と評価、それに基づく自らの意見形成のための論理的思考力と判断力、及び形成した意見を他者へわかりやすく伝え、実行に移すための表現力

③主体性・多様性・協働性

＊医学に関する問題を自ら抽出し、多面的な視点から考察し、他者と協力して問題解決に当たるために必要な主体性・多様性・協働性

④関心・意欲・態度

＊進歩を続ける医学、医療の専門知識と技能に対する関心、生涯にわたりそれを学び続ける意欲、そのために必要な自己主導型学習態度

⑤倫理観・社会的責任

＊尊い人命を預かる医療者として、また、医学と医療の継承と発展を担う医学者として求められる高い倫理観

＊医師・医学研究者としてのみならず社会の一員としても法令や社会的規範を遵守して行動できる社会性

◇大学入学までに修得が期待される内容

理科、数学、英語、国語を中心とした高等学校の基礎学力を十分に身につけていることが期待されます。理科系科目では、生命現象を科学的、論理的に理解し、医学を修めるために必要となる、物理、化学、生物を基礎とした幅広い知識を修得していることが期待されます。英語では、英文教科書や学術論文の読解や論述、国際的な活動を行う上でのコミュニケーションのための基礎的学力を身につけていることが期待されます。国語では、事実や情報をもとに自らの意見を論理的に構築し、表現したり、他者とのコミュニケーションを確立するために必要な基礎的学力を身につけていることが期待されます。

5. 入学者選抜の基本方針

大学入学共通テストにより、理科、数学、外国語、国語、地理歴史・公民、情報の6教科の基礎学力を十分に身につけていることを評価します。小論文では、物理、化学、生物を基礎とした幅広い理科の知識を修得していること、英語でのコミュニケーション及び英文教科書や学術論文の読解や論述に必要な英語の知識と技能を修得していることを評価します。これらの英語の学力は国際的に活躍するために必要とされる基礎学力です。面接では、志望理由書、推薦書、調査書をもとに質問し、医学を学ぶことに対する目的意識・人間性・論理性・学習意欲などを中心に、思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協働性、関心・意欲・態度、倫理観・社会的責任を評価します。さらに調査書では主体性・多様性・協働性などを評価します。発言は説得的でわかりやすく、質問に対して的確かつ論理的な応答であることが求められます。

創造工学部

1. 教育理念

日本のものづくり産業は「大量生産」「大量消費」の時代から、「ものづくり」さらには「ことづくり」におけるイノベーション創出の時代に変遷しており、人々の多様なニーズに柔軟に対応できる個性豊かで付加価値の高い「もの」や「こと」を創り出す「デザイン思考能力」を有する人材が必要とされています。さらに、「もの」や「こと」が創造的で新しいものであるほどそれを実現するためには相対的に高いリスクが存在し、また、「もの」や「こと」には平時にのみならず危機に瀕しても価値を発揮することが求められていることから、「リスクマネジメント能力」を有する人材も必要とされています。創造工学部は、これらの能力を備えた「次世代型工学系人材」を輩出するため、以下に示す教育理念を定めています。

創造工学部では、人間とその生活を取り巻く自然に焦点を当て、人間と自然が調和的に共生できる文化・安全・産業の創造を目指し、専門的基礎能力に裏打ちされた幅広い工学のバックグラウンドに加えて、デザイン思考能力並びにリスクマネジメント能力を磨くことで、国際社会で尊敬される良き市民としての個性豊かな技術者を育成します。

2. 教育目標

創造工学部では、以下の素養を育成することを目標としています。

- 1) 専門分野を問わず工学系人材として必要な数理的基礎力
- 2) 高い倫理観とそれに裏打ちされた対人コミュニケーション力及び異文化コミュニケーション力
- 3) 地域を理解し、地域と協働して価値の創造を行う力
- 4) 審美力、多様性理解力、企画力、プロトタイプング力などを統合したデザイン思考能力
- 5) 様々なリスクを把握・抽出し事前に対応策を講ずるとともに、想定外の事態にも対応できるリスクマネジメント能力

3. 教育内容

創造工学部生が学ぶ科目は、「全学共通科目」と「学部開設科目」に大別されます。

「全学共通科目」は、全学生を対象に開設する科目で、人間的教養を高めるための教養教育科目です。1年次生を対象に大学の勉学に必要なスキルなどを少人数で学ぶ大学入門ゼミとIT社会において必要な能力を身につける情報リテラシー、現代社会の課題・問題を学ぶ主題科目などからなります。

「学部開設科目」は、工学の専門家としての素養を身につけるための科目で、エンジニアとしての倫理観、コミュニケーション能力、デザイン思考能力、リスクマネジメント能力などを身につけるための学部共通科目と、それぞれの分野の専門を深めるためのコース専門科目に大別されます。

創造工学部は、「文化の創造」「安全の創造」「産業の創造」を担う人材が備えるべき専門性を育成するため7つのコースを開設します。各コースは以下に掲げる人材を育成するため、それぞれの特性を持った「コース専門科目」を提供します。

【造形・メディアデザインコース】

香川県は、美術・建築・工芸等の分野で、瀬戸内の自然や風土に育まれた優れた伝統・文化を持ちます。その価値を、今日的視点で多角的に研究・継承し、芸術的視点で統合しながら、工業製品・情報メディア等の造形・デザイン・制作に貢献できる創造的な人材を育成します。実践的なカリキュラムによって、優れたコミュニケーション能力、表現力を育成し、工業製品のデザイン、情報メディア・コンテンツのデザインに貢献できる人材を育成します。

【建築・都市環境コース】

少子高齢化や地方経済の衰退が進行するなかで、地域の限られた人的及び物的資源を活用し、安全・安心で快適に暮らすことができる地域社会の構築を目指し、建築、土木、環境等の関連分野を俯瞰し、これらを活かした質的価値の高い“暮らし”をデザインできる技術者を養成します。関連分野の基礎知識の習得に加えて、地域固有の自然環境や歴史文化、社会基盤、種々の建築物など社会を構成している諸要素に関する多様な技術を学び、測量士補の資格や建築士などの受験資格を得ることができます。

【防災・危機管理コース】

日本は首都直下地震や南海トラフ巨大地震のような国難といえる巨大自然災害だけでなく、国を超え地球規模の様々な危機にも直面しています。また、現在のようなグローバル化した世界では、ある地域の災害や事変が世界を震撼させる可能性もはらんでいます。本コースでは、地域の強みと弱みをよく知り、経験だけでなく人類や地球の歴史からも学び、何が脅威になるかという予見能力を持ち、ハードウェア、ソフトウェアとヒューマンウェアを組み合わせ、危機を未然に防止し、防止できないときには危機が災害に、災害が破局に拡大しないように対処できる人材を育成します。

【情報コース】

IT・デジタル技術や人工知能の進化により、個人の生活から産業のあり方まで、社会全体が大きく変わろうとしています。この変化を加速させるためにコンピュータ、セキュリティ、データ分析等の基礎知識に加え、これらを実社会に応用できる実践的なスキルをもった次世代型のIT人材が求められています。当コースでは、これらの要求に応えるため、グローバルなネットワークを利用するクラウドやビッグデータなどを対象とする情報システム技術、高い信頼性や安全性を確保するセキュリティ技術、利用者の立場で情報システムを設計できるヒューマンインタフェース技術を身につけ、地域、日本、世界からの情報システム・セキュリティのニーズに対応した情報技術者を育成します。

【人工知能・通信ネットワークコース】

私たちの生活を一層豊かで便利にするために、身の回りのあらゆるものを通信ネットワークで結び、人工知能（AI）を用いて自動化する技術や将来予測・意思決定に役立てる技術の開拓が求められています。本コースでは、これらに必要となる人工知能、無線・光通信ネットワーク、計測技術等を身につけるため、人工知能の基礎・応用、これらの電子回路上への実装、電気・通信ネットワーク系の基礎・応用を学びます。

【機械システムコース】

社会に貢献できる「付加価値」のある製品やサービスの提供を目指し、「先端的なものづくり」をリードする高度な機械系技術者を養成します。機械工学の基礎として解析力、力学、制御技術、設計・製図を身に付け、その上で、高度な機械システムを形成するために必要な電気電子、情報分野の知識についても学びます。そのため、自動車、電機、情報、鉄鋼、医療機器など機械システムに関わる様々な分野で技術者として活躍できます。

【材料物質科学コース】

物質に対する化学や物理の理解を深めることは、材料科学の基礎であり、安心・安全で持続可能な社会の実現と省エネルギー・省資源化に貢献する先端材料の開発に不可欠です。新材料の創造は常に世界の先端技術をけん引しています。本コースでは、社会に貢献する新しい材料をつくり出すという視点から、材料・機械・電気・化学・物理・生物などに細分化されている学問を「環境材料化学分野」、「機械材料科学分野」、「光・電子材料科学分野」の3つに統合し、自然界の原理・原則・現象の理解を基礎とした幅広い実践的な教育研究を行います。本コースの卒業生は、製造業、化学、金属、素材メーカー、電気・電子部品など様々な分野で活躍しています。

4. 求める学生像（入学者に求める学力・能力・資質等）

大学入学までに、以下のような学力・能力・資質等を備えている人を求めています。

①知識・技能

＊高等学校等における国語、外国語、数学、理科などを中心に、幅広い学習に裏付けされた本学部の専門領域を学ぶために必要な基礎学力・技能

②思考力・判断力・表現力

＊本学部の専門領域の分野を多角的かつ包括的に捉え、それぞれの問題を解決するための論理的思考能力や判断力、根拠に基づいた科学的思考力や批判的思考力

＊物事を多面的な視点から思考し、自分の考えを他者からもわかりやすく伝える表現力

③主体性・多様性・協働性

＊主体的に多様な他者とかかわり、他者の意見や価値観を尊重し相互理解に努めようとする協働性やコミュニケーション能力

④関心・意欲・態度

＊本学部の専門領域のいずれかの分野に興味関心を持って自ら積極的かつ継続的に課題に取り組む意欲と審美眼を持ち、身につけた知識・技術を分かりやすく表現し、共生環境創造、地域社会創造及び国際社会に役立てる意欲・態度

＊技術者として国内外を問わず社会に発信し、生涯にわたり学び続ける態度

⑤倫理観・社会的責任

＊本学部の専門領域における技術者として、また社会の構成員としての自覚と責任を持ち、自己が果たす役割や倫理観・社会的責任を理解できる能力

◇大学入学までに修得が期待される内容

高等学校等において、国語、外国語、数学、理科などを中心に基礎学力を身につけておいてください。本学部の理念を理解し、技術専門職として、他者の意見や価値観を尊重し、他者を思いやることのできるコミュニケーション能力も必要ですので、生徒会活動やクラブ活動・ボランティア活動等を通して、幅広い視野と主体性・協働性を養い、自分の考えを表現できるような力を身につけておいてください。

5. 入学者選抜の基本方針

学校推薦型選抜Ⅱでは、創造工学を学ぶために必要な基礎学力を大学入学共通テストの数学、理科、外国語、情報の4教科5科目により評価します。また、調査書の審査では、勉学状況に加えて生徒会活動やクラブ活動などへの取り組み、特技や取得資格などを重視し、創造的な探究心、主体性、社会性、積極性、倫理観・社会的責任などの観点から総合的に評価します。

農学部

1. 教育理念

香川大学農学部は、先端的かつ総合的な生物科学を基礎に、自然と調和した安全で快適な地域社会を実現するための教育と研究を行うことにより、豊かな人間性と国際的な視野、課題探求能力を備え、生物資源の生産と活用に関する科学と技術を総合的に理解し、生物科学を基盤とする産業界で幅広く活躍できる有為な人材を養成することを目指します。

2. 教育目標

香川大学農学部では、生物資源の生産と活用に関する幅広い知識と技能を身につけ、科学的な思考に基づく課題設定力、国際感覚を備えた判断力及びコミュニケーション力を備え、多様で広範な社会の諸課題の解決に向けて柔軟な思考によって取り組むことのできる「農学の実践力」を持って国際的協働社会の一員として自覚的に行動できる人材を育成します。

3. 教育内容

農学部生の履修する授業科目は「全学共通科目」と「学部開設科目」に大別されます。「全学共通科目」は幅広い教養を身につけるために全学学生を対象に開設された授業科目であり、「学びと生き方科目」（「学問への扉」、「大学入門ゼミ」、「情報リテラシー」、「ライフデザイン」、「健康・スポーツ」から構成）、「主題科目」、「学問基礎科目」、「外国語科目」、「広範教養教育科目」、「高度教養教育科目」という科目群から構成されています。「学部開設科目」には専門の基礎固めのための「導入科目」と「共通基礎科目」、高度な専門性を身につけるための「コース専門科目」、さらに社会的課題などに視野を広げるための「共通展開科目」が設けられています。

農学部は応用生物科学科の1学科制を採用しています。入学後、まず学部共通の導入科目と共通基礎科目を履修し、生物科学の基礎を身につけます。この間に、自らの学習の方向性と適性を把握し、2年後期からは以下の5つのコースに分かれて専門科目を履修し、学修を体系的に完成させます。

【先端生命科学コース】

近年の生命科学やバイオテクノロジーのめざましい発展により、生命現象や生物が有する機能をゲノムレベル・遺伝子レベル・タンパク質レベルで解明し、利用することが可能になってきました。先端生

命科学コースでは、微生物から高等動植物までの様々な生命活動を分子（遺伝子、タンパク質）レベルで明らかにする生命科学の基礎から、その成果を有用生物の開発や生物資源の有効利用へと役立てるための応用技術まで幅広く学ぶことができます。

【アグリサイエンスコース】

豊かな社会の発展に求められる安全で安定的な食料供給と、生活に潤いをもたらす園芸資源の生産開発をめざして、遺伝資源の評価と品種改良、持続可能な生産管理技術と生産環境解析、生産物の流通・利用システムなどを、フィールド技術から生命科学の知識まで幅広く実践的に学びます。さらに、アグリサイエンスの理論を基礎から応用まで体系的に学習し、連携した実験やフィールドでの実習を通して自ら検証できるユニークな教育体制を有しています。

【フィールド環境コース】

生物と環境との相互作用、環境中の物質循環について学びます。特に里海・里山・身近な水辺を主な対象として、化学的・生物学的手法をはじめとする様々な分野の手法と理論を活用し、フィールド及び実験室で調査解析に取り組みます。さらに、環境問題や生物の利用・管理・保全に対して実践的に取り組む力を身につけます。

【バイオ分子化学コース】

生物は多種多様な分子（有機化合物）を生産し、それらを自己防御や他者とのコミュニケーションに利用しています。バイオ分子化学コースでは、これらの分子の探索、構造解析、化学合成、作用機構の解析などを通して、自然界における生物の生存戦略を理解するとともに、有用な分子や関連する技術・情報などを農業、医薬、食品といった幅広い分野に提供できる人材の育成を行います。

【食品科学コース】

食品の持つ人間に対する種々の生体調節機能を科学的に理解し、食品の（１）機能性（２）安全性（３）嗜好性・加工特性について学びます。講義と実験・実習（学外の工場又は研究所見学なども含む）を組み合わせ、基礎から応用、そして実践的内容のカリキュラムで、安全で、機能性が高く、様々な嗜好性に対応できる食品を開発できる人材の育成を行います。

4. 求める学生像（入学者に求める学力・能力・資質等）

大学入学までに、以下のような学力・能力・資質等を備えている学生を求めています。

①知識・技能

＊農学部専門科目を学ぶために必要な基礎的な知識と技能

②思考力・判断力・表現力

＊課題解決に必要な柔軟で論理的な思考力・判断力と自分の考えを的確に伝える表現力

③主体性・多様性・協働性

＊地域社会や国際社会における生物資源の生産・利用に関する広範な諸課題を積極的かつ主体的に探求し、多様な観点で考え、他者と協働して課題を解決するコミュニケーション能力

④関心・意欲・態度

＊生物と生物資源の生産及びその有効利用並びにそれらの基盤となる生命現象に強い関心を持ち、関連する様々な課題に積極的・主体的に取り組もうとする高い意欲

＊生物関連産業での活躍を希望し、応用生物科学の様々な分野の専門知識や技術を意欲的に修得しようとする態度

⑤倫理観・社会的責任

＊生物資源の生産と利用に関わる者として、自然と調和した安全で快適な人間社会を構築するための高い倫理観と社会的責任を理解する能力

◇大学入学までに修得が期待される内容

高等学校において、理科、数学、国語、英語を中心とした基礎学力を身につけておいてください。農学部では、生物科学の様々な分野の学問を理解し、生物資源の生産と利用に関する専門科目を学ぶため

に理科と数学の基礎学力が必要となります。また、生物資源の生産と利用に関する情報を理解し、自らの論理的思考及び判断をもってこれを説明できるプレゼンテーション能力とコミュニケーション能力を養うことを目標としています。これらを日本語だけでなく英語でも可能にするために国語と英語の基礎学力が必要です。

5. 入学者選抜の基本方針

高等学校における教科面で、農学部で特に必要な教科の学習の達成度、知識・技能、思考力・表現力をみるために大学入学共通テストの理科、外国語（2教科2科目）の得点を評価します。また、提出書類等から志望動機や勉学状況に加え、主体性・多様性・協働性、関心・意欲を総合的に評価します。具体的には、学内外での活動（文化活動、スポーツ活動、生徒会活動、クラブ活動、海外留学経験、ボランティア活動など）、科学的な研究活動、資格・検定等（英語検定など）において実績を収めているものを評価します。

Ⅱ 募集人員

学 部	学科等		募集人員	
法 学 部	法 学 科 (昼間コース)		30 人	
	計		30 人	
経 済 学 部	経 済 学 科 (昼間コース)		推薦Ⅱ A	40 人
			推薦Ⅱ B	7 人
	計		47 人	
医 学 部	医 学 科		※25 人	
	計		※25 人	
創造工学部	創 造 工 学 科	造 形 ・ メ デ ィ ア デ ザ イ ン コ ー ス	52 人	
		建 築 ・ 都 市 環 境 コ ー ス		
		防 災 ・ 危 機 管 理 コ ー ス		
		情 報 コ ー ス		
		人 工 知 能 ・ 通 信 ネットワークコース		
		機 械 シ ス テ ム コ ー ス		
		材 料 物 質 科 学 コ ー ス		
	計		52 人	
農 学 部	応 用 生 物 科 学 科		20 人	
	計		20 人	
合 計			174 人	

備考

【共 通】

総合点が著しく低い者については、募集人員に満たない場合でも不合格とすることがあります。

【経済学部】

ⅡA またはⅡB の合格者が募集人員に満たない場合、ⅡA とⅡB の合計の合格者数が 47 人を満たすように選抜します。

【医学部】

医学部医学科の募集人員25人のうち、県内高校出身枠として、13人程度は香川県内の高等学校を2024年4月以降に卒業した者及び2026年3月に卒業見込みの者としてします。

募集人員に欠員が生じた場合は、その欠員を一般選抜（前期日程）から補充します。ただし、県内高校出身枠13人程度について、合格者が13人に満たない場合、その欠員を一般選抜（前期日程）で補充します。

※ 2024年度に実施した2025年度入試では、調整の結果、募集人員が30人（「地域枠（学校推薦）」5人を含む。）となりました。2026年度入試の募集人員については今後調整の予定であり、変更があり得ます。

確定次第、本学ホームページ（<https://www.kagawa-u.ac.jp/>）ですみやかに公表します。

【創造工学部】

学校推薦型選抜Ⅱではコース毎に募集を行います。各コースの受入人員の目安は以下のとおりです。

創造工学部	創造工学 科	造形・メディアデザインコース	5 人
		建築・都市環境コース	8 人
		防災・危機管理コース	3 人
		情報コース	8 人
		人工知能・通信ネットワークコース	6 人
		機械システムコース	13 人
		材料物質科学コース	9 人
	計		52 人

Ⅲ 出願について

1. 推薦要件

法 学 部	次の各号の要件すべてに該当する者です。 (1) 高等学校を2026年3月に卒業見込みの者又は高等専門学校の第3学年を2026年3月に修了見込みの者 (2) 本学部に対する明確な志向と勉強意欲を持つとともに、学業成績、人物ともに優れ、調査書の学習成績概評がB段階以上で、学校長が責任をもって推薦できる者 (3) 合格した場合は、入学を確約できる者 推薦人員は、1校につき4人までとします。
経 済 学 部	推薦ⅡA 次の各号の要件すべてに該当する者です。 (1) 高等学校を2026年3月に卒業見込みの者又は高等専門学校の第3学年を2026年3月に修了見込みの者 (2) 人物的に優れ、勉強意欲が旺盛であり、調査書の「国語」・「地理歴史」・「公民」・「数学」・「理科」・「外国語」の6教科のうち、4教科^{〔注〕}の学習成績の状況がそれぞれ4.0以上で、学校長が責任をもって推薦できる者 (3) 合格した場合は、入学を確約できる者 〔注〕類似する学習内容の教科を推薦要件の教科に含めたい場合は、個別に判断しますので教務課学務第二係（経済学部担当）までお問い合わせください。 推薦人員については、1校あたりの人数制限はありません。
	推薦ⅡB 次の各号の要件すべてに該当する者です。 (1) 高等学校の農業、水産、工業、商業、家庭、厚生、商船、美術、音楽など「本学が専門教育を主とすると認める学科^{〔注1, 注3〕}」を2026年3月に卒業見込みの者又は高等専門学校の第3学年を2026年3月に修了見込みの者 (2) 人物的に優れ、勉強意欲が旺盛であり、調査書の「国語」・「地理歴史」・「公民」・「数学」・「理科」・「外国語」の6教科のうち、4教科^{〔注2〕}の学習成績の状況がそれぞれ4.0以上で、学校長が責任をもって推薦できる者 (3) 合格した場合は、入学を確約できる者 〔注1〕「本学が専門教育を主とすると認める学科」には、専門教育に関する科目を主として履修する普通科の商業コース、総合学科の商業系列などを含む。 〔注2〕「本学が専門教育を主とすると認める学科」については、これらのうち1教科を専門教育に係る教科に読み替えても良い。 〔注3〕専門教育に係る教科が推薦要件として学習成績の状況を確認する6教科（「国語」・「地理歴史」・「公民」・「数学」・「理科」・「外国語」）に類似する学習内容の場合は、「本学が専門教育を主とすると認める学科」には含まない。 推薦人員については、1校あたりの人数制限はありません。

医 学 部 医 学 科	次の各号の要件すべてに該当する者であって、人物が優秀で、高等学校長が責任をもって推薦できる者 (1) 高等学校を2024年4月以降に卒業した者及び2026年3月に卒業見込みの者 (2) 高等学校における学習成績が優秀で、かつ、調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者 (3) 高等学校において、物理、化学及び生物（理数科等にあつては、理数物理、理数化学及び理数生物）のうちから2科目以上、数学Ⅲ、数学A及び数学B（理数科等にあつては、理数数学Ⅰ及び理数数学Ⅱ）並びに英語コミュニケーションⅢ及び論理・表現Ⅱ（旧教育課程履修者についてはコミュニケーション英語Ⅲ及び英語表現Ⅱ）を履修（見込みを含む。）した者 ただし、教育課程の編成等により履修内容が上記科目区分によらない場合、また外国の高等学校での取得単位を高等学校の卒業要件にしている者については、履修科目について弾力的に取り扱う余地がありますので、高等学校長を通じて必ず2025年9月26日（金）までに問い合わせてください。所定の期日までに問い合わせのない場合は、出願を受理しません。 (4) 合格した場合は、入学を確約できる者 【推薦人員】 卒業見込者：1校につき8人までとします。ただし、香川県内の高等学校については、1校につき10人までとします。 既 卒 者：1校につき1人までとします。ただし、香川県内の高等学校については、1校につき10人までとします。 「地域枠（学校推薦）」は募集人員5人となるよう調整中です。 人数については予定であり、変更があり得ます。募集人員が確定次第、本学ホームページ（https://www.kagawa-u.ac.jp/）ですみやかに公表します。 前記、医学部医学科の要件すべてに該当し、かつ、次の要件すべてに該当する者であって、人物が優秀で、将来、香川県内の地域医療に貢献したいという強い意志を持ち、高等学校長が責任をもって推薦できる者に限ります。 なお、地域枠（学校推薦）に出願する場合には、通常の推薦枠と併せて出願することができます。 (1) 香川県内の高等学校を2024年4月以降に卒業した者及び2026年3月に卒業見込みの者 (2) 2024年度又は2025年度に本学で実施する地域医療セミナーを修了した者 (3) 「香川県医学生修学資金」の貸付けを受ける者 (4) 将来、県が別途定める医療機関（香川県内の公立病院等）で一定期間（9年間）、医師の業務に従事する意志のある者 ※地域医療セミナーの詳細は、医学部ホームページ（https://www.med.kagawa-u.ac.jp/prospective_students/igaku/chiikiiryouseminar/）を参照してください。 ※「香川県医学生修学資金」の詳細は、香川県ホームページ（https://www.pref.kagawa.lg.jp/）から「香川県医学生修学資金貸付」で検索してください。
--------------------	--

創 造 工 学 部	次の各号の要件すべてに該当する者です。 (1) 高等学校を2026年3月に卒業見込みの者又は高等専門学校の第3学年を2026年3月に修了見込みの者 (2) 本学部に対する明確な志向と勉学意欲を持つとともに、学業成績、人物ともに優れ、調査書の学習成績概評がB段階以上で、学校長が責任をもって推薦できる者 (3) 合格した場合は、入学を確約できる者 <u>推薦人員については、1校あたりの人数制限はありません。</u>
農 学 部	次の各号の要件すべてに該当する者です。 (1) 高等学校を2025年3月に卒業した者及び2026年3月に卒業見込みの者又は高等専門学校の第3学年を2026年3月に修了見込みの者 (2) 本学部に対する明確な志向と勉学意欲を持つとともに、学業成績、人物ともに優れ、調査書の学習成績概評がB段階以上で、学校長が責任をもって推薦できる者 (3) 合格した場合は、入学を確約できる者 <u>推薦人員については、1校あたりの人数制限はありません。</u>
共 通	(注) ① 高等学校には、中等教育学校及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を含みます。 ② 「2026年3月に卒業見込みの者」には、「2025年4月以降に卒業した者」を含みます。

2. 出願手続

〔1〕出願期間および出願方法（インターネット出願）

出願方法はインターネット出願のみです。

出願は、下記期間内に①出願登録、②検定料払込、③出願書類等の郵送によって完了します。
（①②③のすべてを行わなければ出願が受け付けられません。）

【医学部医学科】

出願登録期間	11月4日（火）10時～11月11日（火）17時 ※10月21日（火）10時よりインターネット出願サイトへの入力（出願内容の下書保存）が可能です。
検定料払込期間	11月4日（火）10時～11月11日（火）17時
出願書類等到着期限	11月11日（火）17時必着 ※到着期限を過ぎて書類が届いた場合は、 <u>11月9日（日）までの消印</u> があり、かつ <u>簡易書留・速達</u> であるものに限り受け付けます。 ※11月11日（火）9時～17時に限り、出願書類等の持参を認めます。 受付場所 〒761-0793 木田郡三木町大字池戸1750番地1 香川大学医学部学務課入試係

【法学部・経済学部・創造工学部・農学部】

出願登録期間	1月19日（月）10時～1月23日（金）17時 ※1月5日（月）10時よりインターネット出願サイトへの入力（出願内容の下書保存）が可能です。
検定料払込期間	1月19日（月）10時～1月23日（金）17時
出願書類等到着期限	1月23日（金）17時必着 ※到着期限を過ぎて書類が届いた場合は、 <u>1月21日（水）までの消印</u> があり、かつ <u>簡易書留・速達</u> であるものに限り受け付けます。 ※1月23日（金）9時～17時に限り、出願書類等の持参を認めます。 受付場所 志望する学部の学務係 法学部 〒760-8523 高松市幸町2番1号 香川大学教務課学務第一係（法学部担当） 経済学部 〒760-8523 高松市幸町2番1号 香川大学教務課学務第二係（経済学部担当） 創造工学部 〒761-0396 高松市林町2217番地20 香川大学創造工学部学務係 農学部 〒761-0795 木田郡三木町大字池戸2393番地 香川大学農学部学務係

■インターネット出願の流れ



■出願前の確認・準備

① 必要なインターネットの環境

パソコン	Windows : Microsoft Edge (最新バージョン) Google Chrome (最新バージョン) Firefox (最新バージョン)
	MacOS : Safari (最新バージョン)
スマートフォン タブレット	Android (13.0以上) : Android Chrome (最新バージョン) iOS (16.0以上) : Safari (最新バージョン)

※ ブラウザの設定は、どのウェブブラウザでも、以下の設定を行ってください。

- ・JavaScriptを有効にする。
- ・Cookieを有効にする。

※ セキュリティソフトをインストールしている場合、インターネット出願が正常に動作しない場合がありますのでご注意ください。
セキュリティソフトについては、各メーカーのサポートセンターに問い合わせてください。

※ PDFを表示するにはアドビ社のAdobe Acrobat Reader（無償）が必要です。他アプリケーションではPDFが正しく表示されない恐れがあります。すでにAdobe Acrobat Readerをお持ちの方もバージョンを確認し、最新版にアップデートされることを推奨します。

② 印刷できる環境の確認

入学願書等PDFファイルを印刷する必要があるため、印刷できる環境が必要です。自宅にプリンターがない場合は学校やコンビニエンスストア等の印刷できる環境を確認してください。

③ メールアドレスの準備

出願登録の際にメールアドレスが必要です。登録したメールアドレスはIDとして利用するだけでなく、出願に関する重要なお知らせが配信されますので、日常的に受信を確認できるメールアドレスを登録してください（スマートフォン・携帯電話等のアドレスも可。同一メールアドレスで複数IDの登録はできません。）。

メールアドレスを持っていない場合は、フリーメール（Gmail, Yahoo!メール等）を取得してください。携帯電話でドメイン指定受信設定をしている場合は「@postanet.jp」からのメールが受信できるように設定してください。

STEP 1 出願登録を行う

1 香川大学入試情報から「インターネット出願」にアクセス

香川大学入試情報>インターネット出願・進学支援サイト
(<https://www.kagawa-u.ac.jp/admission/16987/>)



※画面は変更となる場合があります。

2 ユーザー登録（初めて利用する場合）

- インターネット出願サイトのログイン画面より「新規登録」ボタンをクリック。
- 利用規約に同意した後、メールアドレスを入力して「登録」ボタンをクリック。
- 入力したメールアドレス宛てに、仮登録メールが届きます。
- 仮登録メールの受信から60分以内にパスワードを設定し、「利用登録」ボタンをクリック。

3 出願情報の入力

登録したメールアドレスとパスワードでインターネット出願サイトにログインしてください。出願先に「香川大学」を選択後、出願内容（入試区分、学部学科等）、志願者情報等の必要事項（※21～23ページ参照）を画面の指示に従って入力してください。

！ 本学では、大学入学共通テストの成績請求票番号取得を「Web方式」により行いますので、必要事項（※21ページ参照）を入力してください。

！ 志願者情報の入力・確認画面では、必ず入力した内容に誤りがないか、十分に確認してください。

！ 「STEP2 検定料を払い込む」が完了すると、入力した出願登録情報が修正できなくなりますので注意してください。

※出願登録情報の修正の詳細についてはインターネット出願に関するQ&Aをご確認ください。

STEP 2

検定料を払い込む

検定料 17,000円

※検定料の他に、払込手数料

(支払い方法にかかわらず一律550円)が必要です。

※ペイジー(銀行ATM)においては、ご利用の銀行によって、別途事務手数料が発生する可能性があります。

■支払方法の選択

支払方法を選択し、支払手続に進んでください。

【注意】

『コンビニ』『ペイジー』を選択した場合は、必ず支払いに必要な番号を印刷又はメモしてください。

※支払い番号を忘れた場合は、インターネット出願サイトにログインすると、支払い番号を確認することができます。

■支払手続

※今後変更になる場合がありますので、最新情報はインターネット出願サイトで確認してください。

■クレジットカード

カード情報を入力すれば、決済が完了します(支払方法は一括払いのみ)。

クレジットカードの名義人は志願者と同一である必要はありません。

VISA



JCB

AMERICAN EXPRESS



■コンビニ

セブンイレブン	レジで「インターネット支払い」と伝えて、印刷した「払込票」を渡すまたは番号を伝えて代金お支払い
ローソン/ ミニストップ	「Loppi」で手続後、レジで代金お支払い
ファミリーマート	「マルチコピー機」で手続後、レジで代金お支払い
セイコーマート	レジで「インターネット支払い」と伝えて手続後、代金お支払い
デイリーヤマザキ/ ヤマザキデイリーストアー	レジで「オンライン決済番号」を伝えて、代金お支払い

■ペイジー(銀行ATM)

ペイジー対応の銀行ATMで「料金払込(ペイジー)」を選択し検定料を払い込んでください。

※銀行ATMによってメニュー名称が異なります。上記はゆうちょ銀行の例。

■ペイジー(ネットバンキング)

収納機関番号・お客様番号・確認番号を控え、各自で支払い方法を確認し検定料を払い込んでください。



支払手続が完了しないと、「STEP3 出願書類等を印刷・郵送する」に進めません。

STEP 3 出願書類等を印刷・郵送する

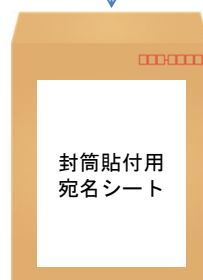
1 出願書類と封筒貼付用宛名シートを印刷

- 決済完了後、インターネット出願サイトに再ログインし、出願履歴から該当の出願登録情報の「詳細を確認」ボタンをクリックしてください。
- 画面下部にある「入学願書ダウンロード」ボタン及び「封筒貼付用宛名シートダウンロード」ボタンをクリックし、出願書類等のPDFファイルをダウンロードし、A4用紙に片面印刷してください。
- 印刷した書類に誤りがあることがわかった場合は、該当箇所に赤字で修正を加えてください。（訂正印は不要）



2 郵送用の封筒を準備

- 角形2号封筒（240mm×332mm）を準備してください。
- 印刷した封筒貼付用宛名シートを、角形2号封筒に貼り付けてください。



3 出願書類等を郵送

- 郵送が必要な出願書類等（※24～25ページ参照）が全て封入されていることを確認し、「簡易書留・速達」で郵送してください。



STEP 1～STEP 3を、すべて期間内に完了することによって、出願が受理されます。インターネットで入力完了していても、出願書類等が期限までに到着しない場合は、出願を受理することができません。出願期間を十分に確認の上、できるだけ余裕をもって出願してください。

STEP 4 受験票または願書受理票を印刷する

下記期間中にインターネット出願サイトにログインし、「デジタル受験票ダウンロード」ボタンをクリックして画面下部にある受験票（医学部医学科）または願書受理票（法学部・経済学部・創造工学部・農学部）をダウンロードし、A4用紙に印刷してください。

受験票（願書受理票） ダウンロード期間	【医学部医学科】 11月18日（火）10時 ～ 11月22日（土）20時
	【法学部・経済学部・創造工学部・農学部】 1月30日（金）10時 ～ 2月11日（水・祝）20時

※「受験票」，「願書受理票」は入学試験個人成績等開示申請の際に必要ですので、大切に保管しておいてください。

STEP 5 【医学部医学科のみ】個別学力検査等を受験

個別学力検査等当日は、印刷した受験票を必ず持参してください。

インターネット出願に関するQ&A

- Q** 氏名や住所の漢字が、登録の際にエラーになってしまいます。
- A** 氏名や住所などの個人情報を入力する際に、JIS第1水準・第2水準以外の漢字は登録エラーになる場合があります。その場合は、代替の文字を入力してください。それでも入力難しい場合は、カタカナで入力してください。
〈例〉 高木→高木 山崎→山崎 (ローマ数字) III→3
- Q** ポップアップがブロックされ画面が表示できません。
- A** GoogleツールバーやYahoo!ツールバーなどポップアップブロック機能を搭載しているツールバーをインストールしている場合、ポップアップ画面が表示されない場合があります。本学のインターネット出願サイト(「portal.postanet.jp」及び「www.postanet.jp」)のポップアップを常に許可するよう設定してください。
- Q** コンビニ・ペイジーでの支払いに必要な番号を忘れました。
- A** インターネット出願サイトにログインすると、支払番号の確認画面を再表示できます。
- Q** ダウンロードした出願書類のPDFファイルを表示できません。
- A** PDFを表示するには、Adobe Acrobat Reader(無償)が必要です。すでにAdobe Acrobat Readerをお持ちの方もバージョンを確認し、最新版にアップデートされることを推奨します。
- Q** 出願書類を印刷するためのプリンターが自宅にありません。
- A** 学校やコンビニエンスストア等の印刷できる環境をご検討ください。
- Q** 出願登録後に出願内容を変更することはできますか？
- A** 【志願者情報(住所・氏名・電話番号等)を変更したい場合】
出願登録後は出願情報の変更ができません。検定料を支払う前であれば、既に登録した出願情報を放棄し、もう一度、最初から出願登録を行ってください。検定料を支払った後に誤りがあることが分かった場合は、印刷した入学願書に赤字で修正を加えてください(訂正印は不要)。
【志望理由書・活動記録等を変更したい場合】
検定料を支払う前であれば、変更可能です。インターネット出願サイトにログインし、「詳細を確認」ボタンをクリックして画面に進んでください。画面上部にある「活動記録を編集」ボタンをクリックし、登録内容を変更してください。
- Q** 出願書類等を郵送後、申込情報「受付完了」の日時が表示されません。
- A** 出願が受理され受験番号が付番された時点で、「受付完了」となり、当該欄に完了日時が表示されます。受付完了までしばらくお時間をいただくことがあります。なお、郵送状況の確認は、簡易書留受領証に記載されている引受番号を使って日本郵便ホームページの郵便追跡サービスから追跡(検索)してください。

インターネット出願の操作方法に
関する照会先

四国国立5大学インターネット出願専用コールセンター
(075) 341-8620

受付期間: 【医学部医学科】

10月21日(火)～11月11日(火) 9:00～17:00

※土日・祝日を除く

【法学部・経済学部・創造工学部・農学部】

1月5日(月)～1月23日(金) 9:00～17:00

※土日・祝日を除く

【2】インターネット出願サイトで入力する項目

下表の①～④と、該当者のみ⑤～⑨を入力してください。

(全員が入力するもの)

	入 力 項 目	注 意 事 項
①	入試区分・学部を選択	志望する入試区分と学部を選択してください。
②	志願者の基本情報	必要事項を入力してください。 ※住所は本学から送付する書類が必ず届く住所を入力してください。 ※電話番号は志願者・緊急連絡先あわせて必ず異なる電話番号を2つ以上入力してください。出願書類の不備等について本学から連絡することがあります。
③	志願者の写真	志願者本人の顔写真のデータをアップロードしてください。 【顔写真の規格】 ・カラー ・出願前6ヶ月以内に撮影したもの ・正面向き、胸から上を撮影したもの ・無帽、無背景であること ・鮮明で、影のないもの ・写真サイズ比率 縦4：横3（出願サイト上でトリミング可能） ・ファイル形式：JPEG（ファイルサイズ上限3.0MB） ※顔の大きさが写真全体の2/3になるように画像サイズを調整してください。 ※証明写真をカメラで再撮影したものをアップロードしないでください。
④	大学入学共通テスト成績請求票番号	大学入試センター連携 ユーザーID、パスワード、申込番号を入力してください。 なお、医学部医学科志願者は、出願登録時に成績請求票番号が未確定のため、1月5日（月）～1月16日（金）の間にインターネット出願サイトに再度ログインし、出願履歴から該当の出願登録情報の「詳細を確認」ボタンをクリックして、成績請求票番号を取得してください。

(上記の他に該当者が入力するもの)

法学部志願者		
⑤	志 望 理 由 書 (1,000字以内)	法学部志願者は以下の2点について、1,000字以内で入力してください。 1) 高等学校又は高等専門学校在学中に自分自身が意欲的に取り組んできたこと 2) 香川大学法学部で学ぶことについての抱負 ※取り組んできたことの例として、具体的には、文化活動、スポーツ活動、生徒会活動、クラブ活動、海外留学体験、ボランティア活動、英語検定、簿記検定、漢字検定などにおいて特に顕著な実績を挙げているものを評価します。

医学部医学科，創造工学部及び農学部志願者		
⑥	志 望 理 由 書 (800字以内)	以下のことについて，医学部医学科・創造工学部・農学部志願者は800字以内で入力してください。 【医学部医学科】 あなたは，なぜ香川大学に入学しようと思いましたか。医学部医学科では特に何を勉強したいと思っていますか。また将来はどのような夢を描いていますか。 【創造工学部】 あなたは，なぜ香川大学に入学しようと思いましたか。創造工学部では何を勉強し，それを大学卒業後の人生でどのように生かしたいと考えていますか。 【農学部】 あなたは，なぜ香川大学に入学しようと思いましたか。農学部では何を勉強し，それを大学卒業後の人生でどのように生かしたいと考えていますか。

経済学部志願者		
⑦	資 格 及 び 活 動 歴 査 調 査 書	【Ⅰ 取得資格・検定について】 出願時まで取得した資格・検定を入力してください。最大10件まで入力できます。入力内容は資格・検定の名称（60字），級・スコア等（25字），資格付与責任団体名（25字），取得年月（20字）です。これらの字数は上限であり，無理に上限まで近づける必要はありません。 1. 同一種類の資格・検定については，最高位のものを入力してください。 2. 資格・検定の取得を証明する認定証等のコピー（A4サイズ片面印刷）を出願書類等と一緒に送付してください。必ず，資料右上に資料番号（資格－1，資格－2等）を記入してください。 【Ⅱ 活動歴について】 〈1〉高等学校又は高等専門学校内外での活動歴 高等学校又は高等専門学校内での教科外活動及び学校外での活動について入力してください。それぞれ，最大5件まで入力できます。入力内容は活動内容（所属部，団体等の名前）（60字），活動期間（30字），果たした役割（60字）です。これらの字数は上限であり，無理に上限まで近づける必要はありません。 〈2〉各種大会，演奏会，コンクール等での活動について 高等学校又は高等専門学校在籍中に参加・出場した各種大会，演奏会，コンクール等での活動状況，成績を入力して下さい。最大10件まで入力できます。入力内容は参加大会名称（30字），開催年月（20字），大会規模（15字），主催者名（20字），開催地（20字），参加校数又は参加者数（概数可）（10字），団体・個人の別（注）（20字），成績（20字）です。これらの字数は上限であり，無理に上限まで近づける必要はありません。 1. 開催年月順に入力してください。 2. 県大会以上の規模のものを入力してください。但し，勝ち上がりによる参加・出場については，参加・出場の前提となる大会の成績を必ず入力してください。

		3. 成績を証明する認定証、表彰状等のコピー（A4サイズ片面印刷）を出願書類等と一緒に送付してください。参加・出場を証明する書類（大会プログラムや新聞記事等）のコピー（A4サイズ片面印刷）を出願書類等と一緒に送付してください。なお、参加・出場を証明する書類は、前の大会の入賞を証明する書類をもって代えることができます。必ず、資料右上に資料番号（活動－1，活動－2等）を記入してください。 （注）団体の場合、ポジション、楽器、役割等を入力してください。
--	--	---

新型コロナウイルス感染症の影響による各種大会、資格・検定試験等の中止等により成果を記載できない場合は、その内容（大会や資格等について）及び成果獲得に向けた努力のプロセスやそれらに代わる目標に向けた努力等も本欄を利用してわかりやすく述べてください。

医学部医学科志願者		
⑧	志 願 者 履 歴	高等学校に在学中の者は高校の学歴のみを入力してください。 高等学校を卒業している者は卒業から現在までの経歴について詳細に入力してください。自宅学習及び予備校学習も入力し、<u>空白期間を作らないでください。</u> 大学に在学中の者又は在学したことがある者は、大学・学部・学科名及びその在学期間を入力してください。 職歴がある者は、会社名及びその在職期間を入力してください。

医学部医学科地域枠（学校推薦）志願者		
⑨	地域枠（学校推薦） 志 望 理 由 書	以下のことについて、800字以内で入力してください。 あなたは、なぜ地域枠（学校推薦）を志願しようと思いましたか。地域医療に関してどのような興味を持っていますか。また、将来どのような地域医療に関わりたいと思っていますか。

【3】郵送が必要な出願書類等

インターネット出願サイトで入力及び検定料の支払いを行った後、下表の①～③と、該当者のみ④～⑥を郵送してください。

(全員が提出するもの)

	出 願 書 類 等	注 意 事 項
①	入 学 願 書	19ページの手順に従って該当ファイルをダウンロードし、A4用紙に印刷してください。 ※「入学願書ダウンロード」ボタンをクリックすることでダウンロードできます。
②	推 薦 書	本学所定の用紙を用いて出身学校長が作成し、厳封してください。 様式は本学ホームページ (https://www.kagawa-u.ac.jp/admission/admission_guide/243/) からダウンロードしてください。様式をダウンロードしてパソコン等で作成しても構いません。
③	調 査 書	出身学校長が作成し、厳封してください。

(上記のほかに該当者が提出するもの)

法学部, 医学部医学科, 創造工学部及び農学部志願者		
④	志 望 理 由 書	①入学願書と同様に、インターネット出願サイトの「入学願書ダウンロード」ボタンをクリックしてファイルをダウンロードし、A4用紙に印刷してください。

法学部志願者		
⑤	証明書等のコピー	志望理由書に記述した資格・検定の取得、学校外での活動、各種大会・展覧会・コンクール等での活動について、それを証明する認定証や表彰状等のコピー (A4サイズ片面印刷) を出願書類等と一緒に送付してください。

経済学部志願者		
⑥	資格及び活動歴調査書	①入学願書と同様に、インターネット出願サイトの「入学願書ダウンロード」ボタンをクリックしてファイルをダウンロードし、A4用紙に印刷してください。「資格及び活動歴調査書」は全部で3枚あります。3枚全てを提出してください。 ※資格及び活動歴調査書を入力していない場合でも提出が必要です。
	証明書等のコピー	資格・検定及び各種大会、展覧会、コンクール等での活動を入力した場合は、証明書等のコピー (A4サイズ片面印刷) を一緒に郵送してください。なお、資料右上に資料番号を記入してください。 【資料番号の例】 取得資格・検定の場合：資格－1等 各種大会、演奏会、コンクール等での活動の場合：活動－1等

医学部医学科志願者		
⑦	志 願 者 履 歴	①入学願書と同様に、インターネット出願サイトの「入学願書ダウンロード」ボタンをクリックしてファイルをダウンロードし、A4用紙に印刷してください。

医学部医学科地域枠(学校推薦)志願者		
⑧	地域枠(学校推薦)志望理由書	①入学願書と同様に、インターネット出願サイトの「入学願書ダウンロード」ボタンをクリックしてファイルをダウンロードし、A4用紙に印刷してください。
⑨	同 意 書	本学所定の用紙を用いて作成してください。様式は本学ホームページ(https://www.kagawa-u.ac.jp/admission/admission_guide/243/) からダウンロードし、A4用紙(両面)に印刷してください。 同意書の内容をよく確認したうえで、所定の欄に志願者本人及び保護者又は法定代理人が必要事項を手書きで記入してください。

〔４〕出願上の注意事項

- (1) 国公立大学の学校推薦型選抜(大学入学共通テストを課する学校推薦型選抜、免除する学校推薦型選抜を含めて)への出願は、1つの大学・学部に限られます。
- (2) 法学部「学校推薦型選抜Ⅱ(大学入学共通テストを課する学校推薦型選抜)」は、法学部「学校推薦型選抜Ⅰ(大学入学共通テストを免除する学校推薦型選抜)」に不合格になった場合でも、出願することができます(他学部出願者は不可)。
- (3) 経済学部「学校推薦型選抜Ⅱ(大学入学共通テストを課する学校推薦型選抜)」は、経済学部「学校推薦型選抜Ⅰ(大学入学共通テストを免除する学校推薦型選抜)」に不合格になった場合でも、出願することができます(他学部出願者は不可)。
- (4) この学校推薦型選抜に不合格になった場合に備えて、前期日程で試験を実施する大学・学部から1つ、後期日程で試験を実施する大学・学部から1つ、公立大学中期日程で試験を実施する大学・学部から1つ、合計3つの大学・学部に出願することができます。
- (5)
 1. 出願書類が不備の場合は受理できません。
 2. 出願書類受理後は、書類の返還及び記載内容の変更を認めません。
 3. 払込済の検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。
 - ① 検定料を払い込んだが本学に出願しなかった(出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった)場合
 - ② 検定料を誤って二重に払い込んだ場合

※ 上記①又は②に該当される方は、香川大学入試課 TEL(087)832-1182へご連絡ください。

3. 選 抜 方 法

〔１〕大学入学共通テストの利用教科・科目等

大学入学共通テストの利用教科・科目及び利用方法は、別表(28～29ページ)のとおりです。

大学入学共通テストにおいて、「地理歴史」及び「公民」並びに「理科」の試験時間に2科目受験する場合は、解答順に前半に受験した科目を「第1解答科目」、後半に受験した科目を「第2解答科目」とします。

〔２〕個別学力検査等 (医学部医学科のみ)

個別学力検査等の選抜方法は、別表(28～29ページ)のとおりです。

〔３〕大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等

大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等は、別表(28～29ページ)のとおりです。

〔4〕各学部の選抜方法等について

【法 学 部】

- ・ 調査書、志望理由書及び大学入学共通テストの総合点により選抜します。
- ・ 大学入学共通テストの外国語で「英語」を選択した場合は、リスニングを含みます。ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者はこの限りではありません。
- ・ 大学入学共通テストで、数学と外国語の2教科とも受験している場合には、高得点の教科の成績を用います。
- ・ 調査書については、地歴・公民の成績を重視し、さらに学業以外の活動についても評価します。

【経済学部】

- ・ 調査書（学習成績の状況は出願要件であり特記事項のみを評価します。）及び大学入学共通テストの総合点により選抜します。
- ・ 本学が指定した大学入学共通テストの利用教科・科目の得点が配点計300点の内5割に満たない者は、不合格とします。
- ・ 推薦ⅡBについては大学入学共通テストの「数学Ⅱ、数学B、数学C」と「情報Ⅰ」の2科目とも受験している場合には、高得点の科目の成績を用います。
- ・ 大学入学共通テストの外国語で「英語」を選択した場合は、リスニングを含みます。ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者はこの限りではありません。
- ・ 「調査書の特記事項」

調査書の特記事項とは、「特別活動の記録」及び「指導上参考となる諸事項」に記載されている事項で、特に評価に値すると認められるもののことです。文化活動、スポーツ活動、生徒会活動、クラブ活動、海外留学体験、ボランティア活動、英語検定、数学検定、簿記検定、漢字検定などにおいて特に顕著な実績を挙げているものを評価します。評価にあたっては、最もよい一項目のみを対象とし、複数の項目を加算する方式は採りません。

なお、「調査書の特記事項」の補足資料として、志願者には「資格及び活動歴調査書」の提出を求めます。文化活動及びスポーツ活動については、主催団体名と個人種目か団体種目かの別を明記してください。検定試験については、主催団体名を明記してください。また、成績や資格を証明する書類などのコピーを提出してください。

【医学部医学科】

- ・ 学校長から提出される推薦書・調査書の内容及び本学部が実施する小論文・面接の結果を総合的に判断し、大学入学共通テストの成績を参考にして合格者を決定します。
- ・ 大学入学共通テストの地歴、公民について2科目受験している場合は、第1解答科目の成績を用います。ただし、指定した科目を第1解答科目として受験していない場合は、合格者とはなりませんので、注意してください。
- ・ 大学入学共通テストの外国語で「英語」を選択した場合は、リスニングを含みます。ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者はこの限りではありません。

《合否判定基準》

ア 小論文と面接評価の総合点で順位を決定します。

ただし、小論文又は面接のいずれか一方を受験していない場合は、本学の合格者とはなりません。

イ 本学が指定した大学入学共通テストの成績が本学の定める基準に満たない者は、総合点の如何にかかわらず不合格とします。また、面接の結果をもって総合点の如何にかかわらず不合格となる場合があります。

ウ 地域枠（学校推薦）にあつては、上記に加え香川県による面接の結果を参考として合否を決定します（募集については調整中）。

※上記の合否判定基準に関する個別の問い合わせについては、応じられません。

① 小論文

小論文は、単なる作文力のテストではなく、学校長から提出される推薦書及び調査書の記載内容等を補完するとともに、大学入学共通テストではみることができない論理的思考力、倫理観、社会性等をみるために行います。

小論文の出題は、英語による問題（小論文Ⅰ）と日本語による理科系の論述式問題（小論文Ⅱ）とします。なお、小論文Ⅱは出題3題のうち2題を選択して解答します。

② 面接

面接は、医師及び医学研究者となるにふさわしい適性をみるために行います。なお、志望理由書、推薦書、調査書を面接の重要な資料として用います。地域枠（学校推薦）にあつては、通常の面接に加え、香川県による面接があります（募集については調整中）。

【創造工学部】

- ・ 調査書、志望理由書及び大学入学共通テストの総合点により選抜します。
- ・ 大学入学共通テストの理科について2科目受験している場合は、第1解答科目の成績を用います。ただし、指定した科目を第1解答科目として受験していない場合は、合格者とはなりませんので、注意してください。
- ・ 大学入学共通テストの外国語で「英語」を選択した場合は、リスニングを含みます。ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者はこの限りではありません。
- ・ 調査書については、勉学状況、特記事項を評価します。
- ・ 「調査書の特記事項」

調査書の特記事項とは、「特別活動の記録」及び「指導上参考となる諸事項」に記載されている事項で、特に評価に値すると認められるもののことです。生徒会活動、クラブ活動、ボランティア活動、文化活動、スポーツ活動などにおいて実績を挙げているもの、また、優れた特技及び英語検定、TOEIC、TOEFL、情報技術検定、電気工事士などの資格を取得しているものを評価します。

【農学部】

- ・ 調査書、志望理由書及び大学入学共通テストの総合点により選抜します。推薦書は出願要件書類として扱います。
- ・ 大学入学共通テストの理科について2科目受験している場合は、第1解答科目の成績を用います。ただし、指定した科目を第1解答科目として受験していない場合は、合格者とはなりませんので、注意してください。
- ・ 大学入学共通テストの外国語で「英語」を選択した場合は、リスニングを含みます。ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者はこの限りではありません。
- ・ 調査書については、修学状況、特記事項を評価します。特記事項とは、「特別活動の記録」及び「指導上参考となる諸事項」の中で、実績を収めている学内・学外での活動（文化活動、スポーツ活動、生徒会活動、クラブ活動、海外留学体験、ボランティア活動など）、科学的な研究活動、資格・検定等（英語検定など）です。

別表 大学入学共通テストの利用教科・科目及び個別学力検査等について（学校推薦型選抜Ⅱ）

学部・学科等名			大学入学共通テストの利用教科・科目名			個別学力検査等	
			教科	科目名等		教科等	科目名等
法学部	(昼間コース) 法学科		国	「国」		必須	調査書・志望理由書
			数	(「数Ⅰ、数A」、「数Ⅰ」) から1科目及び (「数Ⅱ、数B、数C」) } 2科目			
			外	(「英」、「独」、「仏」、「中」、「韓」) から1科目			
			情	「情Ⅰ」			
			[3教科4科目(数学の場合)又は3教科3科目(外国語の場合)]				
経済学部	(昼間コース) 経済学科	推薦Ⅱ A	国	「国」		必須	調査書
			数	「数Ⅰ、数A」		必須	
				「数Ⅱ、数B、数C」		必須	
			外	(「英」、「独」、「仏」、「中」、「韓」)		から1科目	
				[3教科4科目]			
		推薦Ⅱ B	国	「国」		必須	調査書
			数	(「数Ⅰ、数A」、「数Ⅰ」)		から1科目	
				「数Ⅱ、数B、数C」		から1科目	
情			「情Ⅰ」		から1科目		
			[3教科4科目又は4教科4科目]				
医学部	医学科		国	「国」		必須	その他 小論文、面接(志望理由書、推薦書、調査書を用いる)
			地歴	(「地総、地探」、「歴総、日探」)		から1科目	
			公民	「歴総、世探」、「公、倫」、「公、政・経」)			
			数	「数Ⅰ、数A」		必須	
				「数Ⅱ、数B、数C」		必須	
			理	(「物」、「化」、「生」)		から2科目	
			外	「英」		必須	
			「情Ⅰ」		必須		
			[6教科8科目]				
創造工学部	創造工学科	造形・メディアデザインコース	数	(「数Ⅰ、数A」、「数Ⅰ」)		から1科目	調査書・志望理由書
		建築・都市環境コース		(「数Ⅱ、数B、数C」)		必須	
		防災・危機管理コース	理	(「物」、「化」、「生」、「地」)		から1科目	
		情報コース	外	(「英」、「独」、「仏」、「中」、「韓」)		から1科目	
		人工知能・通信ネットワークコース	情	「情Ⅰ」		必須	
			[4教科5科目]				
農学部	応用生物科学科		理	(「物」、「化」、「生」、「地」)		から1科目	提出書類
			外	(「英」、「独」、「仏」、「中」、「韓」)		から1科目	
			[2教科2科目]				

(注)【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

《法学部》

- 外国語で「英」を選択した場合は、リスニングを含みます。
ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者はこの限りではありません。
- 数学と外国語の2教科とも受験している場合には、高得点の教科の成績を用います。

《経済学部》

- 推薦ⅡBについては「数Ⅱ、数B、数C」と「情Ⅰ」の2科目とも受験している場合には、高得点の科目の成績を用います。
- 外国語で「英」を選択した場合は、リスニングを含みます。
ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者はこの限りではありません。

《医学部》

- 地歴、公民の科目のうち「公、倫」と「公、政・経」の組み合わせは選択できません。
- 地歴、公民について2科目受験している場合は、第1解答科目の成績を用います。
ただし、指定した科目を第1解答科目として受験していない場合は、合格者とはなりませんので、注意してください。
- 外国語で「英」を選択した場合は、リスニングを含みます。
ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者はこの限りではありません。

《創造工学部》

- 理科について2科目受験している場合は、第1解答科目の成績を用います。
ただし、指定した科目を第1解答科目として受験していない場合は、合格者とはなりませんので、注意してください。
- 外国語で「英」を選択した場合は、リスニングを含みます。
ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者はこの限りではありません。

《農学部》

- 理科について2科目受験している場合は、第1解答科目の成績を用います。
ただし、指定した科目を第1解答科目として受験していない場合は、合格者とはなりませんので、注意してください。
- 外国語で「英」を選択した場合は、リスニングを含みます。
ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者はこの限りではありません。

学部	大学入学共通テストの配点等											個別学力検査等の配点			配点 合計
	国語	地 公	歴 民	数 学		理 科			外国語	情報	大学入学共通 テスト配点計	小論文	調査書・ 志望理由書	個別学力検査 等配点計	
				①	②	基礎を付した科目									
法学部	200			*100	*100				*200	※	400		60	60	460
				(2 科目)											
経済学部	国語	地 公	歴 民	数 学		理 科			外国語	情報	大学入学共通 テスト配点計	小論文	調査書	個別学力検査 等配点計	320
	II A	100		50	50				100		300		20	20	
	II B	100		50	* 50				100	* 50	300		20	20	
医学部	国語	地 公	歴 民	数 学		理 科			外国語	情報	大学入学共通 テスト配点計	小論文	面 接	個別学力検査 等配点計	450
	★	★	★	★			★	★	★	※	★	300	150	450	
							(2 科目)								
創造工学部	国語	地 公	歴 民	数 学		理 科			外国語	情報	大学入学共通 テスト配点計	小論文	調査書・ 志望理由書	個別学力検査 等配点計	700
			100	100			200	200	※	600		100	100		
							(1 科目)								
農学部	国語	地 公	歴 民	数 学		理 科			外国語	情報	大学入学共通 テスト配点計	小論文	提出書類	個別学力検査 等配点計	600
							200	300		500		100	100		
							(1 科目)								

(注)【大学入学共通テストの配点等】欄

《共通》

1 *印は選択教科・科目を表します。

2 数学の①②は、大学入学共通テストで選択受験できる出題科目のグループを表します。

《法学部》

1 外国語で「英」を選択した場合の配点は、リーディング「160点」、リスニング「40点」の計「200点」とします。

ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者の配点は、リーディング「200点」とします。

2 大学入学共通テストの「情Ⅰ」(※印)は配点合計に含めません。

なお、大学入学共通テスト及び個別学力検査等の成績の総合点が同点の場合の順位決定にあたっては、大学入学共通テストの「情Ⅰ」の成績を活用します。

《経済学部》

1 外国語で「英」を選択した場合の配点は、リーディング「80点」、リスニング「20点」の計「100点」とします。

ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者の配点は、リーディング「100点」とします。

2 推薦ⅡBについては、「情Ⅰ」を数学②(「数Ⅱ、数B、数C」)との選択科目として利用します。

《医学部医学科》

1 医学部学校推薦型選抜に課している大学入学共通テスト(★印)は高等学校における基礎学力の修得度を見るために利用します。

2 大学入学共通テストの「情Ⅰ」(※印)は基礎学力の修得度の評価には含めません。

なお、個別学力検査等の成績の総合点が同点の場合の順位決定にあたっては、大学入学共通テストの「情Ⅰ」の成績を活用します。

《創造工学部》

1 外国語で「英」を選択した場合の配点は、リーディング「160点」、リスニング「40点」の計「200点」とします。

ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者の配点は、リーディング「200点」とします。

2 大学入学共通テストの「情Ⅰ」(※印)は配点合計に含めません。

なお、大学入学共通テスト及び個別学力検査等の成績の総合点が同点の場合の順位決定にあたっては、大学入学共通テストの「情Ⅰ」の成績を活用します。

《農学部》

外国語で「英」を選択した場合の配点は、リーディング「240点」、リスニング「60点」の計「300点」とします。

ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者の配点は、リーディング「300点」とします。

4. 個別学力検査等の日時及び場所

〔1〕個別学力検査等の日時（医学部医学科のみ）

法学部，経済学部，創造工学部，農学部は，小論文，面接は課しません。

月日	学部	医学部医学科	
11月22日 (土)	区 分		時 間
	小論文	I	9:00～10:15
		II	10:35～11:50
	休 憩		11:50～12:40
	面 接		13:00～

(注) 小論文 I と小論文 II の間は，休憩時間ではありません。

志願者が多数の場合は，11月23日(日・祝)にも面接を実施します。なお，該当者については，あらかじめ通知します。

地域枠(学校推薦)にあつては上記に加え，香川県による面接があります。

〔2〕個別学力検査等の場所（医学部医学科のみ）

個別学力検査等は，以下の場所で行います。

医 学 部（三木町医学部キャンパス）（木田郡三木町大字池戸1750番地1）

※試験場には自動車が入構できません。

〔3〕受験上の注意事項（医学部医学科のみ）

ア 試験当日は，各自でダウンロードのうえ印刷した「受験票」を必ず持参してください。

イ 個別学力検査等についての詳細は，試験場に掲示します。

ウ 携帯電話，スマートフォン等電子機器の使用は禁止します。所持している場合は，電源を切っておいてください。使用した場合は不正行為とみなすことがあります。

エ 不正行為のあった場合は，直ちに退場してもらいます。

なお，不正行為については，状況により警察へ被害届を提出するなどの対応をとる場合があります。

オ 小論文は15分以上遅刻した場合は受験できませんので，試験時間をよく確認しておいてください。小論文 I と小論文 II は連続して行います。

面接については，遅刻を認めません。

カ 机の上には，HBの黒鉛筆（シャープペンシル可），消しゴム，鉛筆削り（小型で手動のもの），時計（計時機能だけのもの），メガネ，ハンカチ，ティッシュペーパー（袋から取り出したもの），目薬以外の携行品を置いてはいけません。

※ 令和8年度大学入学者選抜実施要項（令和7年6月3日・文部科学省通知）において，「個別学力検査」は「教科・科目に係る個別テスト」に変わりました。

5. 合格者発表

合格者の発表は，下記日時に本学のホームページ上で合格者受験番号を掲載するとともに，合格者には合格通知書を送付します。

また，推薦のあった学校長へは，選抜結果について通知します。

なお，電話等による可否の問い合わせには応じません。

学 部 等	日	時
法 学 部	2026年2月11日（水・祝）	午前9時（予定）
経 済 学 部		
医学部医学科		
創造工学部		
農 学 部		

香川大学ホームページ <https://www.kagawa-u.ac.jp/>

6. 入 学 手 続

合格者には、合格通知書とともに入学手続書類を送付しますので、入学手続期限（必着）までに「簡易書留・速達」での郵送により手続を行ってください。ただし、最終日に限り、持参による手続を認めます。詳細は、合格通知書送付時に通知します。

〔1〕入学手続期限

2026年2月18日（水）17時まで（必着）

〔2〕入学手続に必要なもの

入学手続に必要なものは、次のとおりです。

- ① 本学所定の誓約書 1部
- ② 国公立大学入学確認票
- ③ 各学部に必要な書類
- ④ 納 付 金

入学料	282,000円(予定)
授業料(前期分)	267,900円(予定)
(年 額)	535,800円(予定)

なお、入学時及び在学中に納付金が改定された場合には、改定時から新たな納付金額が適用されます。

(注) 1. 前期分の授業料については、2026年4月1日から2026年5月31日までの間に納付してください。

また、希望により、前期分の納付の際に後期分も合わせて納付することができます。

2. 納入済の入学料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

- ① 入学手続を行わなかった場合
- ② 入学料を誤って二重に納入した場合
- ③ 高等教育の修学支援新制度の入学金・授業料の減免対象者が減免額を誤って納入した場合

3. 入学料・授業料の納付が困難な学生のために、免除や徴収猶予の制度があります。

入学手続書類送付から手続までの期間が短いため、申請希望者は香川大学ホームページ(<https://www.kagawa-u.ac.jp/campus-life/tuition-info/16198/>)で事前に必要書類をご確認ください。

4. 入学手続を完了した後、何らかの事情で入学ができなくなった場合は、速やかに入学辞退の手続を行ってください。所定の入学辞退の手続を行わない場合は、2026年4月1日付けで入学したこととなり、授業料の債務（前期分）が発生しますのでご注意ください。

〔3〕入学手続書類送付先

〒760-8521

高松市幸町1番1号

香川大学教育・学生支援部教育企画課

7. その他の注意事項

- 〔1〕学校推薦型選抜の合格者は、学校推薦型選抜の趣旨からみて、入学手続きを行い入学するのが当然ですが、特別の事情により、当該志願者の推薦を行った学校長から、**2026年2月18日(水)17時までに「学校推薦型選抜入学辞退願(任意)」**を合格した学部へ提出し、その許可を得た場合に限り、入学辞退が認められます。

合格者は、入学又は入学辞退のいずれの手続きも行わないままとすることのないよう注意してください。定められた学校推薦型選抜入学辞退手続きにより入学辞退を許可された場合を除いては、本学及び他の国公立大学・学部（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。）の合格者とはなりません。

※詳しくは公立大学協会ホームページ(<https://www.kodaikyo.org>)を参照してください。

- 〔2〕「受験票」（【医学部医学科】）及び「願書受理票」（【法学部】、【経済学部】、【創造工学部】、【農学部】）は、入学試験個人成績等開示申請の際に必要ですので、大切に保管しておいてください。

- 〔3〕ノートパソコン必携について

本学では、急速に進む高度情報化社会においてICT（情報通信技術）を十分に活用できる能力を有する人材を輩出すること、ICTを活用した先進的講義手法により教育力を強化すること、各種配布物や提出物のペーパーレス化を推進することなどを目的として、2021年度の入学生からパソコンの必携化を実施しています。機種等の詳細については合格通知後にお知らせします。なお、特別な事情がある場合は入学する学部の学務係（医学部は教務係）までご相談ください。

8. 入試情報の開示について

〔1〕入学者選抜試験における個人成績等の開示

（1）開示内容

試験成績の開示を希望する受験者には、本人の申請により、総合点及び募集要項に記載の配点表に則した項目の得点（大学入学共通テストの得点は合否判定時に採用された科目の得点）並びに総合順位を通知します。その際には、受験した学部・学科等（医学部医学科においては、香川県内高等学校出身者、香川県外高等学校出身者別）における合格者の総合点の最高点及び最低点についても併せて通知します。

ただし、合格者が10人に満たない学部・学科等の受験者には、総合点及び募集要項に記載の配点表に則した項目の得点のみを通知します。

2026年度入学者選抜試験の成績の開示を希望する者は、下記のとおり申請してください。

（2）申請方法

下記①～③の書類を同封し、郵送（レターパックライト）にて申請してください。**郵送以外での申請は認められませんのでご注意ください。**

- ① 本学所定の「入学試験個人成績等開示申請書」

（注）申請書の様式は、本学ホームページ（https://www.kagawa-u.ac.jp/admission/entrance_exam/4192/）からダウンロードしてください。

- ② 本学の受験票、願書受理票及び大学入学共通テスト受験票のうち、いずれか一つ
いずれも添付できない場合は、運転免許証、マイナンバーカード（表面）等のコピーを添付してください。

なお、提出された受験票等は入学試験個人成績等通知時に返却します。

- ③ 返信用レターパックプラス（お届け先欄に本人の住所、氏名及び電話番号を記入したもの）
レターパックプラスは二つに折って入れてください。

（３）申請書受理期間

2026年4月10日（金）から2026年5月8日（金）まで（当日消印有効）

（４）申請先

〒760-8521 高松市幸町1番1号 香川大学入試課 TEL(087)832-1182

（５）申請者に対する開示時期

2026年6月中旬ごろに郵送（レターパックプラス）にて本人に通知します。

（６）その他

開示に要する手数料は、無料とします。ただし、郵送料は申請者の負担とします。

〔２〕入試問題の閲覧

- （１）本学入試問題については、香川大学入試課において閲覧できます。

閲覧時間は、9時から17時までです。※土曜日、日曜日、祝・休日、本学の夏季一斉休業期間（8月中旬）及び12月29日～1月3日を除く。

○ 問い合わせ先：香川大学入試課 TEL(087)832-1182

- （２）情報提供の一環として、本学ホームページ上においても、入試問題を公表します（原則として過去1年分のみ。）。なお、著作権許諾の関係により一部公表できない場合もあります。

○ 公表予定期間

2026年7月から約1年間（著作権許諾の関係で多少前後します。）

香川大学ホームページ <https://www.kagawa-u.ac.jp/>

9. 障害等のある入学志願者との事前相談について

障害がある等、受験上及び修学上の配慮を必要とする入学志願者は、出願に先立ち、あらかじめ本学と相談してください。

また、相談は志願者本人、保護者及び担任教員等、本人の状態を詳しく説明できる者が行ってください。

なお、相談の内容によっては対応に時間を要することもありますので、出願前のできるだけ早い時期に、相談してください。

特に、下表に相当する障害等のある者については、申出がなかった場合、受験の際、障害等の状態に応じた対応ができなくなる場合もありますので十分注意してください。下表から判断できない場合は、お問い合わせください。

区 分	障 害 等 の 程 度
視 覚 障 害	両眼の視力がおおむね0.3未満のもの又は視力以外の視機能障害が高度のもののうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度のも
聴 覚 障 害	両耳の聴力レベルがおおむね60デシベル以上のものうち、補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度のも
肢体不自由	・肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度のも ・肢体不自由の状態が上記に掲げる程度に達しないものうち、常時の医学的観察指導を必要とする程度のも
病 弱	・慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のも ・身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のも
そ の 他	上記以外で、受験上、修学上特別の配慮を必要とするもの (例) 発達障害 (ADHD, 自閉症等), パニック障害, 頻尿

また、医学部に関しては、心身の障害の程度により、卒業後の資格試験（国家試験）に合格しても「医師」の免許が交付されないことがあります。

関係法令等は、医学部ホームページ (<https://www.med.kagawa-u.ac.jp/articles/000/000/280/>) を参照してください。

〔1〕相談の方法

申請書（本学所定又は本学が必要とする内容が記されたもの、健康診断書等必要書類添付）を提出することとし、必要な場合は、本学において志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談等を行います。

申請書の様式は、本学ホームページ (https://www.kagawa-u.ac.jp/admission/entrance_exam/admission-judge-2/) からダウンロードしてください。

〔2〕問い合わせ先

香川大学入試課 〒760-8521 高松市幸町1番1号 TEL(087)832-1182

10. 個人情報の取扱いについて

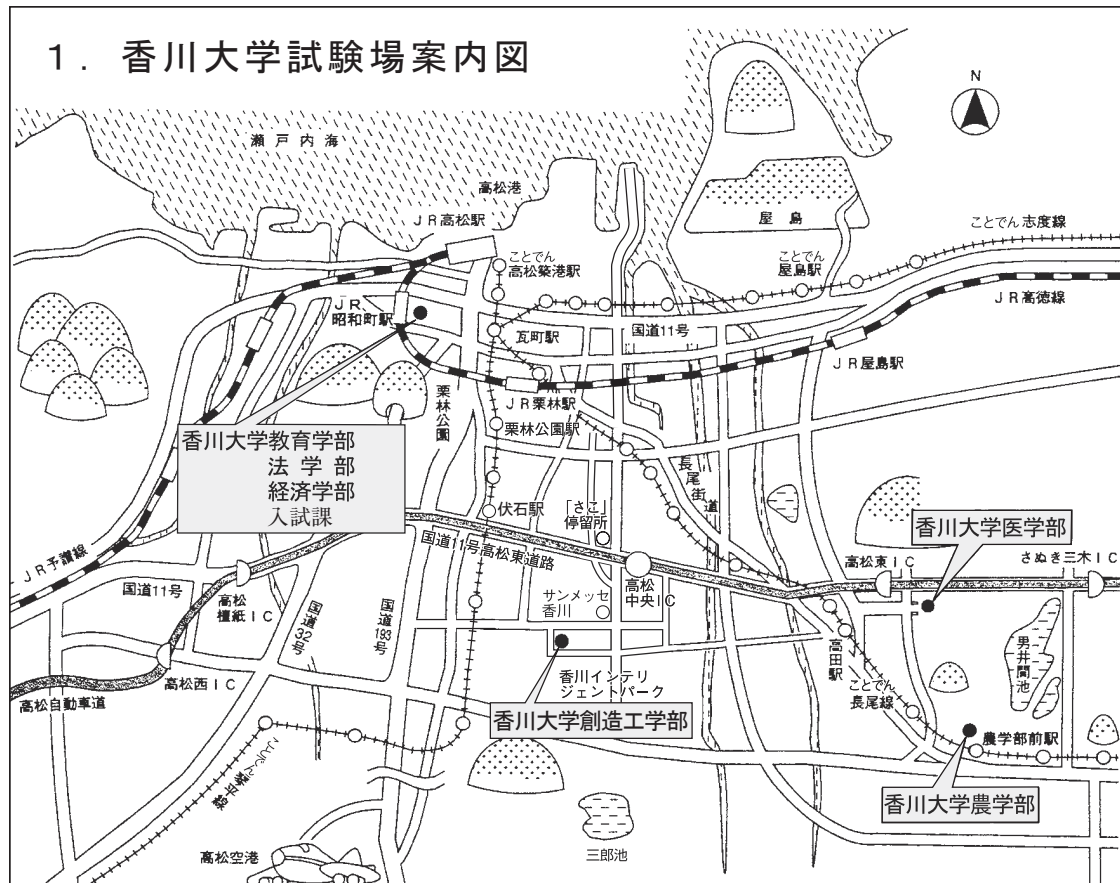
1. 出願書類に記載された個人情報（氏名、生年月日、性別その他の個人情報）は、入学者選抜、合格通知及び入学手続を行うために利用します。また同個人情報は、合格者の入学後の教務関係（学籍、修学指導等）、学生支援関係（健康管理、奨学金申請等）、授業料及び教育研究活動の支援と本学の発展のための活動に関する業務を行う目的をもって本学が管理します。
2. 入学者選抜における個人成績は、入学者選抜の他、調査・研究（入試の改善や志願動向の調査・分析、各種統計資料作成）及び合格者の入学後の教務・学生支援関係業務にのみ使用し、本学の関係教職員以外への提供は行いません。また、調査・研究結果の発表に際しては個人が特定できないように処理します。
3. 国公立大学の入試における合格決定業務を円滑に行うため（追加合格決定業務を含む。）、合格者の情報（氏名及び入学手続状況）は、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学へ送達されます。
4. 提出された出願書類の個人情報を電算処理するため、当該電算処理に係る業務を個人情報の適切な取扱いに関する契約を締結した上で、外部の事業者へ委託することがあります。

11. 学校推薦型選抜Ⅱに関する照会

学校推薦型選抜Ⅱに関する照会は、下記あてに行ってください。

香川大学入試課	〒760-8521	高松市幸町1番1号 TEL (087) 832-1182
香川大学教務課学務第一係（法学部担当）	〒760-8523	高松市幸町2番1号 TEL (087) 832-1859
香川大学教務課学務第二係（経済学部担当）	〒760-8523	高松市幸町2番1号 TEL (087) 832-1813
香川大学医学部学務課入試係	〒761-0793	木田郡三木町大字池戸 1750番地1 TEL (087) 891-2074
香川大学創造工学部学務係	〒761-0396	高松市林町2217番地20 TEL (087) 864-2015
香川大学農学部学務係	〒761-0795	木田郡三木町大字池戸 2393番地 TEL (087) 891-3015

IV 試験場案内図



教育学部・法学部・経済学部・入試課

J	R	高德線「高松駅」→「昭和町駅」下車 徒歩5分(東へ250m)
バ	ス	J R高松駅発(高松駅前①②番のりば) ことでんバス ⑪下笠居線・昭和町経由便 「高松駅」→「幸町」下車 徒歩2～3分(西へ150m)
		ことでんバス ⑬下笠居線・宮脇町経由便又は⑮イオン高松線(南ルート) 「高松駅」→「宮脇町」下車 徒歩2～3分(北へ150m)
		ことでんバス まちなかループバス ①東廻り ②西廻り 「高松駅」→「香川大学教育学部前」下車すぐ 「香川大学法学部・経済学部前」下車すぐ
		高松空港発 空港連絡バス→「中新町」又は「県庁通り・中央公園前」下車 徒歩10分～15分(西へ750m)
タクシー	J R高松駅	→香川大学 約10分 約800円

医学部

電車	ことでん長尾線「高松築港駅」→「高田駅」下車 バス5分 又は 徒歩25分(北東へ1.5km)
バス	J R高松駅発(高松駅前⑦番のりば) ことでんバス ⑦大学病院線 「高松駅」→「大学病院」下車 徒歩1分(北へ50m)
タクシー	J R高松駅→香川大学医学部 約30分 約4,000円

創造工学部

電車	ことでん琴平線「高松築港駅」→「伏石駅」下車 バス約10分 ことでんバス 伏石駅サンメッセ線「香川大学創造工学部前」下車すぐ
バス	J R高松駅発(高松駅前⑧番のりば) ことでんバス ⑥川島線・レインボー通り経由便 「高松駅」→「香川大学創造工学部前」下車 徒歩1分(南へ50m)
バス	ことでんバス ⑥川島線・サンメッセ香川経由便 「高松駅」→「サンメッセ香川」下車 徒歩10分(西へ500m)
高速バス	高速バス「高松中央インター南」下車 北西へ徒歩3分(200m) 又は 「高松中央インターバスターミナル」下車 西へ徒歩5分(380m) ことでんバス ⑥川島線・サンメッセ香川経由便 ⑥西植田線 「さこ」→「サンメッセ香川」下車 徒歩10分(500m) ※徒歩の場合、「高松中央インター南」から創造工学部まで約25分(約1.8km) 「高松中央インターバスターミナル」から創造工学部まで約30分(約2.0km)
タクシー	J R高松駅→香川大学創造工学部 約30分 約3,500円

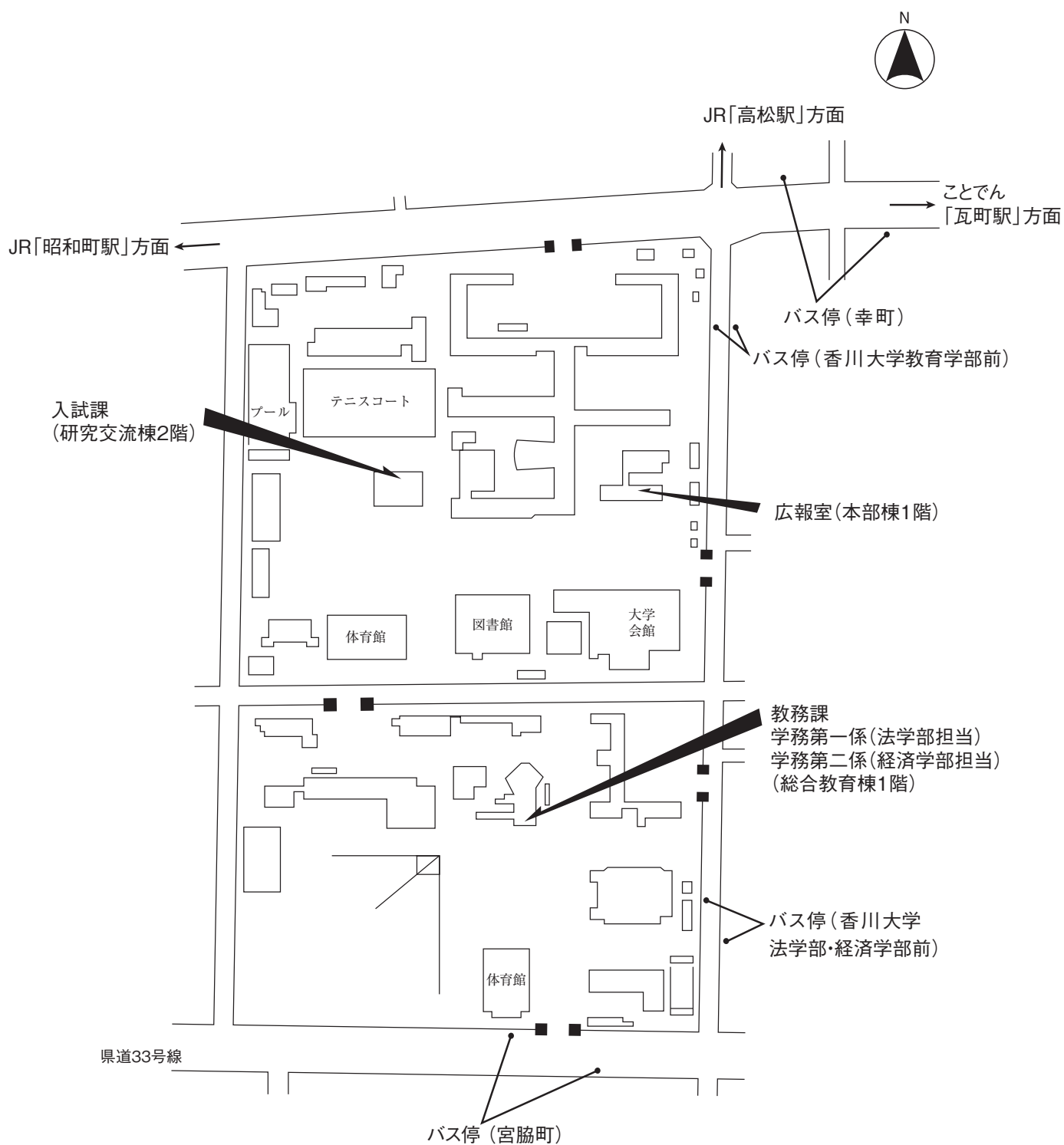
農学部

電車	ことでん長尾線「高松築港駅」→「農学部前駅」下車 徒歩2分(北へ100m)
バス	大川バス 引田線(高松駅前⑧番のりば)「高松駅」→「農学部前」下車 徒歩5分(北へ250m)
タクシー	J R高松駅→香川大学農学部 約40分 約4,400円

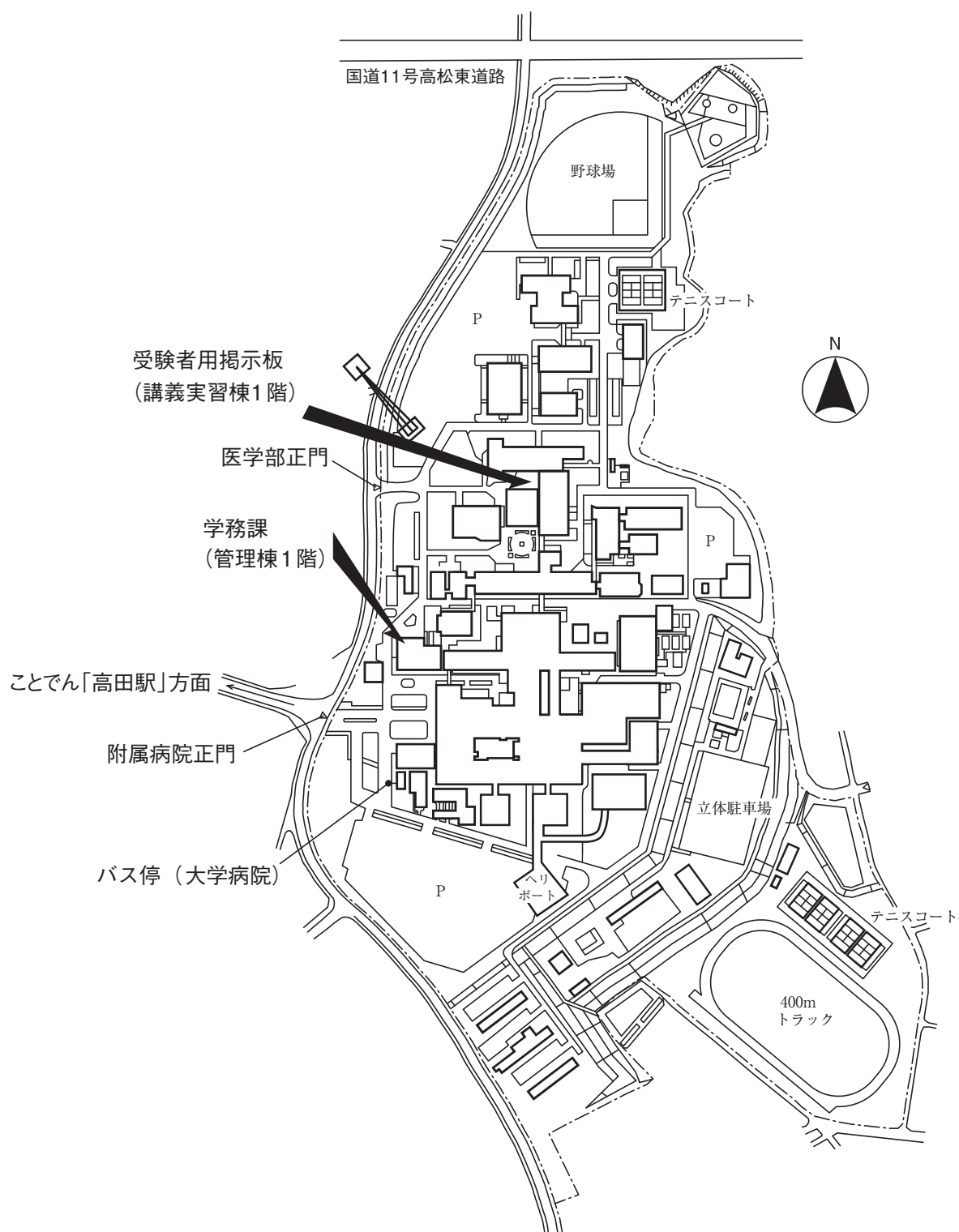
(注) 電車、バス等の運行時刻については、受験者各自で確認してください。また、バス路線等については、変更になる場合もあるので注意してください。

2. 香川大学建物配置図

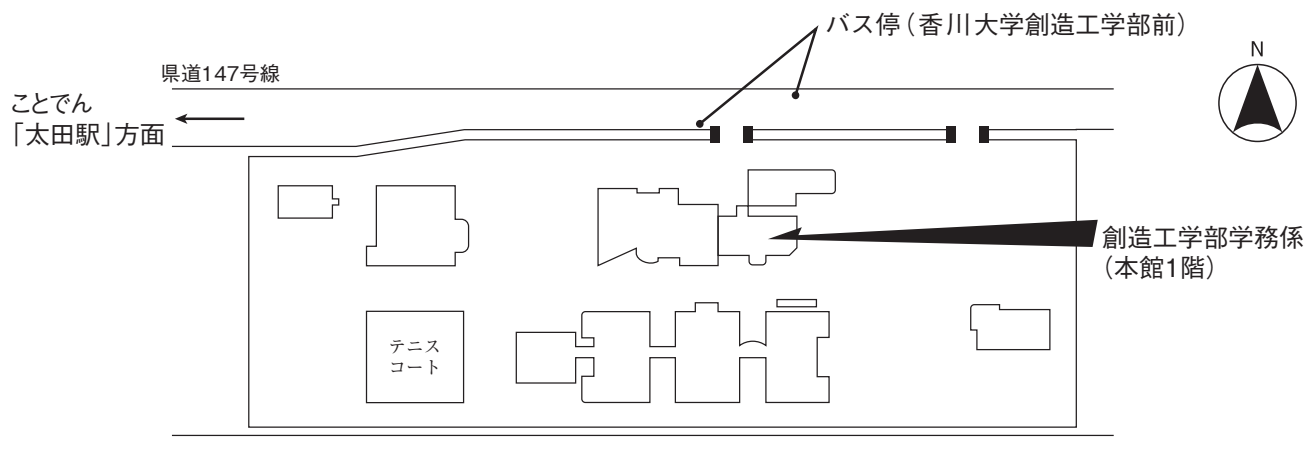
幸町北キャンパス
幸町南キャンパス（法学部・経済学部）



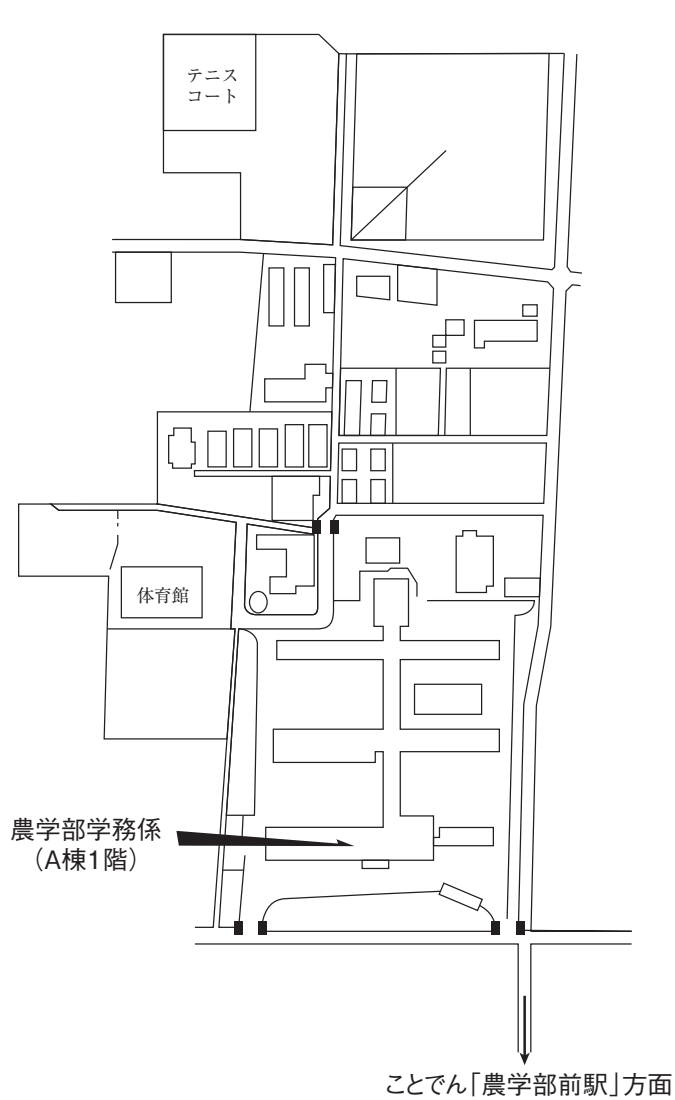
三木町医学部キャンパス（医学部）



林町キャンパス（創造工学部）



三木町農学部キャンパス（農学部）



入学試験等に関する照会先

香川大学入試課	TEL (087) 832-1182 〒760-8521 高松市幸町1番1号
香川大学教務課学務第一係 (法学部担当)	TEL (087) 832-1859 〒760-8523 高松市幸町2番1号
香川大学教務課学務第二係 (経済学部担当)	TEL (087) 832-1813 〒760-8523 高松市幸町2番1号
香川大学医学部学務課入試係	TEL (087) 891-2074 〒761-0793 木田郡三木町大字池戸1750番地1
香川大学創造工学部学務係	TEL (087) 864-2015 〒761-0396 高松市林町2217番地20
香川大学農学部学務係	TEL (087) 891-3015 〒761-0795 木田郡三木町大字池戸2393番地

香川大学ホームページ
<https://www.kagawa-u.ac.jp/>

インターネット出願の操作方法に関する照会先

インターネット出願専用コールセンター	TEL (075) 341-8620
※受付期間	【医学部医学科】 2025年10月21日(火)～11月11日(火) 9:00～17:00 ※土日・祝日を除く 【法学部・経済学部・創造工学部・農学部】 2026年1月5日(月)～1月23日(金) 9:00～17:00 ※土日・祝日を除く

～ 不測の事態発生時等における諸連絡について ～

災害等の不測の事態が発生し、入学試験を予定どおりに実施できない場合等の対応については、上記の本学ホームページ等でお知らせしますので、ご確認ください。

また、入学試験に関する情報についても本学ホームページ等に随時掲載しますので、試験当日まで注意してご覧ください。